令 和 元 年 版

消 防 年 報

天 童 市 消 防 本 部

（令和２年刊行）

天童市市民憲章（昭和四十九年十月一日制定）

わたくしたちは、躍進する天童市の市民です。
すすんで力をあわせ、愛する郷土の未来をひらきます。

美しいまちをつくりましょう
　自然を愛します
　まわりをきれいにします
　公共物を大切にします

明るいまちをつくりましょう
　スポーツに親しみます
　公衆衛生を重んじます
　安全にくらせるようにします

あたたかいまちをつくりましょう
　生涯教育をすすめ、教養を高めます
　伝統を育て、文化財を大切にします
　親切の輪をひろげ、あたたかく人に接します

豊かなまちをつくりましょう
　仕事に生きがいを求めます
　よく考えて働きます
　たがいに仕事を理解しあいます

住みよいまちをつくりましょう
　すすんでまちづくりに参加します
　きまりを正しく守ります
　たがいに助けあい、仲間づくりをすすめます

天童市市民歌（昭和四十九年十二月一日制定）

作詞　大沼　武
補作　真壁　仁
作曲　渡辺　哲哉

一、明けそめる　出羽の山なみ
風青き　村山の野を
そそぎゆく　最上の流れ
野に町に　いまおこる
　生産の意気
讃えよ　われら
若き都市　天童
　わがふるさと

二、かぎりなき　夢よ希望よ
手をむすび　きずきゆく自治
あたらしき　歴史をめざし
若人の胸こがす
　創造の意志
讃えよ　われら
自由の都市　天童
　わがふるさと

三、いで湯わく　泉さながら
たゆみなく　進みゆく町
伝統の　文化のうえに
きりひらく　この未来
　建設の意気
讃えよ　われら
市民の都市　天童
　わがふるさと

は　じ　め　に

この年報は、令和２年４月１日現在における本市消防の現勢と令和元年中における消防諸般の状況を収録し、消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

この年報によって本市消防の現状を認識し深く御理解いただければ幸いです。

なお、本誌における統計については、暦年を原則として作成しておりますが、これによらないものについては、記載してある年月日によります。

天童市消防本部

目　　　　次

１．天 童 市 の 概 要

天童市の沿革 ・・ 1
自然環境 ・・ 2
人口と世帯数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２．総 務 関 係

天童市消防本部・署の沿革 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～6
歴代消防長 ・・・ 7
歴代消防次長 ・・ 7
歴代消防署長 ・・ 8
天童市行政組織機構図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
消防の組織機構図 ・・・ 10
消防職員配置状況 ・・・ 10
消防本部の分掌事務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11～12
消防署の所掌事務 ・・ 12
消防予算 ・・ 13
消防職員年齢及び階級別職員数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
消防職員の階級別勤続年数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
消防力の整備指針に関する概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
消防職員消防学校等入校調 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
消防職員教育実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
消防職員特殊技能資格取得状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

３．消防施設・機械器具

消防庁舎の概要 ・・・ 19
消防本部・署車両の現有状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
主な救助隊装備資器材 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21～23
地区別消防水利設置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
通信施設等概要 ・・ 25
高機能消防指令ｾﾝﾀｰによる災害通報の受付から出動までの指令業務 ・・ 26

4．予　　　防

防火対象物 ･･ 27
消防用設備等設置現況 ････････････････････････････････ 28
各種届出受理状況 ････････････････････････････････････ 29
危険物製造所等施設数 ････････････････････････････････ 30
危険物製造所等規制事務申請件数 ･･････････････････････ 30
危険物施設の推移(過去 15 年間) ･･････････････････････ 31
建築同意 ･･ 32
危険物取扱者試験準備講習状況 ････････････････････････ 32

5．警　　　防

災害等受信状況 ･･････････････････････････････････････ 33
災害等緊急出動状況 ･･････････････････････････････････ 34
その他の緊急出動状況 ････････････････････････････････ 35
その他の出動状況 ････････････････････････････････････ 36
訓練実施状況 ･･ 37
防火対象物等消防訓練実施状況 ････････････････････････ 38
災害等出動状況（消防団） ････････････････････････････ 39
降雪・積雪記録 ･･････････････････････････････････････ 40
累積降雪量 ･･ 40
月別気象統計表 ･･････････････････････････････････････ 41
月別気温 ･･ 42
最高・最低気温と平均気温 ････････････････････････････ 42
最大風速と平均風速 ･･････････････････････････････････ 42

6．火　災　統　計

火災発生状況(前年との比較) ･･････････････････････････ 43
月別火災発生状況 ････････････････････････････････････ 44
曜日別火災発生状況 ･･････････････････････････････････ 44
時間別火災発生状況 ･･････････････････････････････････ 45
原因別火災発生状況 ･･････････････････････････････････ 46
火災の覚知別件数 ････････････････････････････････････ 46
出　火　率 ･･ 47
過去 10 年間の火災件数 ･･････････････････････････････ 47
天童市の主な火災記録 ････････････････････････････ 48～51

７．救急・救助統計

救急出動件数(前年との比較) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
月別・事故別出動件数と搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
救急隊員の行った応急処置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
医療機関別搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
時間別出動状況 ・・・ 56
年齢・性別・事故別搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
事故別・傷病程度別搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
曜日別出動件数・搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
月別出動件数 ・・ 58
発生場所別搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
覚知から収容までの時間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
覚知から現場到着所要時間別出動件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
覚知状況 ・・・ 60
過去 10 年間の出動件数及び搬送人員の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
応急手当普及啓発活動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
救助出動の状況 ・・・ 62
事故別救助活動件数及び救助人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

８．消　防　団

消防団の沿革 ・・・ 63～64
歴代消防団長 ・・ 65
歴代消防副団長 ・・・ 65
消防団の組織図 ・・・ 66
消防分団管轄図 ・・・ 66
年齢及び階級別消防団員数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
消防団員の報酬等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
在職年数別消防団員数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
消防団員の退職・新任状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
消防団機械器具の現有状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69～73

天　童　市　の　概　要

天　童　市　の　沿　革

天童の地名は、南北朝時代に、南朝方の北畠天童丸が居を構えたことに由来するといわれていますが、天から童が舞い降りたという伝説も語り継がれています。

本市の歴史的開拓を見ると、今から 1,200 年以前に天童温泉の付近に農耕を営んだ者がいて、そこに居住跡の文化財を残しました。

市内の文化経済の発展を眺めると、現在、市の中心街をなしている天童は、古くから羽州街道の宿場町として栄え、市の東端に位置する水晶山大和神社が、貞観 13 年(871 年)に従五位下に叙せられたことから見ても、付近一帯の中心をなしていたことが考えられます。

また、市の西端で最上川沿岸にある寺津地区は、天正 8 年(1580 年)最上川の舟着場として大いに賑わい、明治 34 年に奥羽本線が開通するまで、遠く京都など上方との文化・経済交流が活発に行われました。

天童市の行政区域は、昭和 29 年 10 月 1 日に 1 町 6 か村が合併して新天童町が生まれ、昭和 33 年 10 月 1 日市制を施行し、さらに昭和 37 年 10 月 20 日には隣接する豊栄村と合併を経て、今日に至っています。

市制施行以来、気候的・地理的な好条件を生かしながら、土地区画整理事業や下水道事業にいち早く着手し、生活環境の向上と産業基盤の受け皿づくりを進めながら、都市機能の整備充実に努めてきました。

このことにより、これまで高水準の人口の伸びを保ちながら発展し、近年は少子高齢化の伸展により人口の増加に陰りが出始めたものの、人口が 61,920 人、世帯数 22,494 世帯（令和 2 年 3 月 31 日現在）を擁し、活力のあるまちとして着実な発展を遂げています。

第七次天童市総合計画に掲げる天童市の将来像「笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市～ともに明日をひらくてんどう～」の実現を目指して、全力を挙げて市民が主役の市政に取り組んでおります。

自　然　環　境

位　　　置

天童市は、北緯38度21分、東経140度23分の地点を中心に、山形県の中央東寄りに位置しています。東は奥羽山脈を境に宮城県と接し、西は日本三大急流の一つの最上川を境に寒河江市、北は乱川を境に東根市、そして南は立谷川を境に県都山形市に接しています。

また、交通面では、ＪＲ東日本奥羽本線(山形新幹線)が南北に走り、同じく南北に縦走する国道13号と東の仙台市につながる国道48号が市の中心部で交わり、山形空港まで車で10分という交通の要衝になっています。

地　　　勢

地勢は山間部と平地部にほぼ二分され、東半分は奥羽山脈の一部をなす山地で、面白山(1,246m)、雨呼山(905m)などの山々が連なっています。

これらの山地からの河川は西に流れ、乱川と立谷川の2つの扇状地を形成しています。

平地部は、標高85mから110mの所にあり、中央部は、水はけが良く耕作に適し、扇端部は水量が豊富で水田に適しています。

市の中心部を倉津川が流れ、舞鶴山(241.6m)、八幡山(203m)、越王山(225.8m)が出羽三森を形づくっています。

面　　　積

総面積は、113.01平方キロメートルで、東西に18.4キロメートル、南北に10.6キロメートルの広がりをもっています。

気　　　候

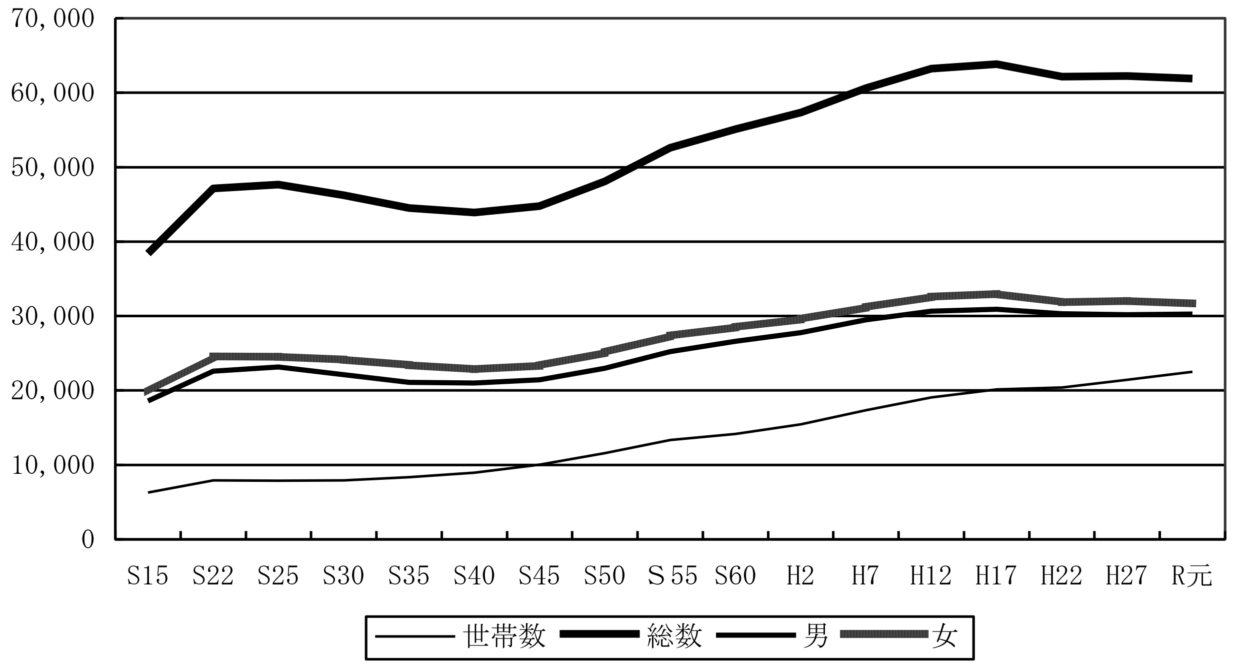
気候は、内陸性気候の特色を持ち、年間降水量は858.5ミリ(令和元年)となっております。雪国といわれる山形県の中では、最も雪の少ない、自然に恵まれた地域といえます。年間平均気温は11度から12度くらいで、零下5度を下まわることはほとんどありません。

春の気温上昇は比較的早く、桜は4月中旬に開花します。梅雨期の降水量は、それほど多くなく、真夏の期間は40日前後で、7月下旬から8月にかけて高温の日が続きます。秋の訪れは急で、9月の後半から気温が下がり、10月下旬には紅葉が始まります。本格的な冬は12月中旬から3月中旬までです。

人口と世帯数の推移

年　次	世帯数	人　　　口			一世帯当りの人員
		総数	男	女	
昭和15年	6,297	38,389	18,612	19,777	6.10
22	7,905	47,153	22,583	24,570	5.96
25	7,858	47,674	23,144	24,530	6.07
30	7,939	46,252	22,121	24,131	5.83
35	8,344	44,521	21,091	23,430	5.34
40	8,945	43,903	21,026	22,877	4.91
45	10,016	44,758	21,442	23,316	4.47
50	11,597	48,082	23,001	25,081	4.15
55	13,358	52,597	25,240	27,357	3.94
60	14,172	55,123	26,603	28,520	3.89
平成2年	15,464	57,339	27,764	29,575	3.71
7	17,330	60,626	29,472	31,154	3.50
12	19,077	63,231	30,661	32,570	3.31
17	20,146	63,864	30,903	32,961	3.17
22	20,404	62,214	30,148	32,066	3.05
27	21,448	62,236	30,194	32,042	2.90
令和元年	22,494	61,920	30,245	31,675	2.75

※　天童市制施行　昭和 33 年 10 月



総　　務　　関　　係

天童市消防本部・署の沿革

昭和 16 年	4 月	火災期における警戒のため、季節常備として職員 4 名を配置
昭和 18 年	5 月	戦争末期における情勢に対処し、警防団の常備部が発足
昭和 19 年	4 月	天童町消防所となり、職員 4 名増員
昭和 22 年	12 月	消防組織法が公布
昭和 23 年	7 月	消防法が公布
昭和 26 年	3 月	消防組織法の一部改正が行われ、消防本部等の設置が義務化
昭和 29 年	10 月	町村合併促進法により、1 町 6 か村が合併し、新天童町が誕生
昭和 31 年	4 月	天童町消防所を廃止し、「天童町消防本部設置条例」及び「天童町消防本部等に関する条例」を公布、消防長(町長兼任)、消防署員 15 名、ポンプ自動車 1 台配備
	6 月	職員 4 名増員、総員 19 名となる。
昭和 32 年	5 月	近隣市町(山形市、東根市、村山市、尾花沢市、豊栄村、大石田町、河北町)と火災相互応援協定を締結、職員 1 名の増員、職員 20 名となる。
昭和 33 年	10 月	市制施行、県下 10 番目
昭和 37 年	10 月	豊栄村と合併
昭和 38 年	2 月	消防本部、消防団、日本消防協会から竿頭綬を授受
	3 月	「天童市消防賞じゅつ金条例」「天童市防災会議条例」「天童市災害対策本部条例」を公布
昭和 39 年	3 月	消防本部、消防団、山形県知事から表彰旗を授受
	9 月	ライトバン(トヨタ)の配置により、任意的に救急業務を開始
昭和 41 年	6 月	国消 150Ｆ型 10W無線機配置周波数 148.21ＭＨｚ
昭和 42 年	9 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 32 名となる。
昭和 43 年	1 月	救急車(トヨタＦＳ45Ｖ型)を配置し、本格的に救急業務を開始
	9 月	救急業務の政令指定となる。
昭和 44 年	3 月	消防本部、消防団、消防庁長官から竿頭綬を授受
	10 月	「天童市消防本部設置条例」「天童市消防審議会条例」を公布旧設置等条例を廃止
昭和 46 年	3 月	化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型、いすゞ)を購入
	5 月	消防庁舎が老野森一丁目に新築落成し業務を開始
	6 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 46 名となる。
昭和 47 年	3 月	消防署、警察署間に直通電話を敷設
	5 月	消防司令車(日産・スカイラインバン)を購入
	9 月	山形県、天童市主催による山形県総合防災訓練が温泉街を中心に実施
	11 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(ＢＤ－1 型、日産)の寄贈を受ける。
昭和 48 年	6 月	(財)日本船舶協会から防犯広報車(日産・グロリア)の寄贈を受ける。
	10 月	「天童市火災予防条例」が公布され、昭和 49 年 1 月 1 日から施行
昭和 51 年	3 月	日本損害保険協会から救急車(2－Ｂ、日産)の寄贈を受ける。

昭和 52 年	4 月	市内クレーン業者と高層建物災害時協力について応援協定を締結
	6 月	「天童市災害弔慰金の支給に関する条例」が公布
	12 月	山形県農業共済組合連合会から救急車(2－Ｂ型)の寄贈を受ける。
昭和 53 年	4 月	山形県広域消防相互応援協定を締結
	9 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 50 名となる。
昭和 54 年	4 月	山形空港及びその周辺における航空機事故の連絡調査に関する協定締結
	12 月	救助工作車(日産、三井)購入
昭和 55 年	3 月	消防署の一斉通報装置を設置し緊急連絡及び市民への「お知らせ」の近代化を図る。
昭和 57 年	6 月	日本船舶協会から広報車の寄贈を受ける。
	8 月	日本消防協会から救急車(2－Ｂ、日産)の寄贈を受ける。
昭和 58 年	3 月	普通型消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅱ型、いすゞ)を購入
	5 月	消防司令車を更新(トヨタ、マークⅡ)
昭和 59 年	3 月	消防本部、消防団、消防庁長官から表彰旗を授与
	10 月	24 メートルはしご付消防ポンプ自動車(三菱、森田ポンプ)を購入
昭和 60 年	3 月	日本損害保険協会から救急車(2－Ｂ、トヨタ)の寄贈を受ける。
	8 月	日本損害保険協会から広報車(三菱、ギャラン)の寄贈を受ける。
昭和 61 年	1 月	化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型、三菱)を更新
	8 月	日本船舶協会から防犯広報車(日産、ＡＤバン)の寄贈を受ける。
昭和 62 年	4 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 56 名となる。
	8 月	消防庁舎落成、10 日から業務開始
	9 月	自動火災報知設備監視装置の業務を開始(旅館、ホテル、病院など 26 施設)
昭和 63 年	9 月	仙台市と消防相互応援協定を締結
平成 元年	2 月	救助業務強化のため、クレーン車(20t 級、タダノ)を購入
	3 月	救助工作車(Ⅱ型、日野)を更新、旧車を三分団に配置する。
平成 2 年	10 月	日本損害協会から救急車(2－Ｂ型、トヨタ)の寄贈を受ける。
平成 3 年	7 月	日本損害協会から水槽付消防ポンプ自動車(水 1－Ｂ型、いすゞ)の寄贈を受ける。
	8 月	山形県、天童市主催による山形県総合防災訓練が市役所を中心に実施
平成 4 年	9 月	日本防火協会から広報車「防火号(トヨタハイエース)」の寄贈を受ける。
	10 月	第 47 回国民体育大会「べにばな国体」及び第 28 回全国身体障害者スポーツ大会「輝きのべにばな国体」が開催(消防警備業務担当)
平成 6 年	2 月	火災監視用テレビカメラが庁舎屋上に設置
	8 月	全国消防救助技術大会に出場(ロープ登はんの部、多田明和消防士)
	11 月	消防司令車(三菱、シャリオ)を更新
平成 7 年	3 月	普通型消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ｉ型、三菱)を購入
	11 月	山形県消防広域応援隊に関する覚書を締結
平成 8 年	2 月	高規格救急自動車を購入
	4 月	救急救命士配置
	9 月	けん引式中型放水砲(10kg/ｃ㎡－2,400Ｌ/min)を購入

平成 9 年	3 月	消防無線全国共通波を整備導入(全共 1「150.73MHｚ」全共 2「148.75 MHｚ」全共 3「154.15MHｚ」)
平成 11 年	1 月	地図検索装置更新(ナショナル)
平成 13 年	3 月	日本損害保険協会から高規格救急自動車(トヨタハイメディック)の寄贈を受ける。
平成 14 年	9 月	東北中央自動車道による消防相互応援協定に関する覚書を締結
	9 月	高速自動車道における救急業務に関する覚書を締結
	12 月	小型動力ポンプ付水槽車(Ｂ―2 級、いすゞ)の更新
平成 16 年	7 月	新潟・福島豪雨災害に緊急消防援助隊として出動
	10 月	新潟県中越地震に緊急消防援助隊として出動
平成 17 年	2 月	高機能消防指令センター(Ⅰ型)が完成
	12 月	ＪＲ東日本羽越線列車事故に山形県消防広域応援隊として出動
平成 18 年	3 月	携帯 119 番直接受信となる。
	8 月	宝くじ協会から訓練指導車(マツダタイタン)の寄贈を受ける。
	10 月	救助工作車(Ⅱ型)を更新
	12 月	消防署の隣接地を購入し、水防倉庫(59.54 ㎡)を新築
平成 19 年	4 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 62 名となる。
	9 月	山形県・天童市合同総合防災訓練を市中部地区で実施
平成 20 年	1 月	高規格救急車更新及び高度救命用資機材を整備
	6 月	岩手・宮城内陸地震に緊急消防援助隊として出動
平成 21 年	2 月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型、日野自動車)の更新
	11 月	普通型消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅰ型、日野自動車)の更新
平成 22 年	1 月	災害搬送車(トヨタコースター)を購入
	8 月	全国消防救助技術大会に出場(ロープブリッジ渡過の部、木本修消防士)
平成 23 年	3 月	東北地方太平洋沖地震に緊急消防援助隊として出動
	3 月	35m級先端屈折水路付はしご自動車の更新
平成 24 年	8 月	全国消防救助技術大会に出場(ロープブリッジ渡過の部、早川雄大消防士)
平成 25 年	2 月	消防庁舎に太陽光発電(総発電量 10.5kW)、太陽光蓄電設備(15kWh)を設置
	3 月	高規格救急車及び高度救命用資機材を整備
	3 月	消防救急デジタル無線(活動波 1・2、主運用波、統制波 1・2・3)を整備
	3 月	消防救急デジタル無線簡易基地局(活動波 1)を田麦野地区に整備
	8 月	全国消防救助技術大会に出場(ロープ応用登はんの部、木本修消防士・赤塚祐太朗消防士)
平成 26 年	2 月	消防指揮隊車両(トヨタハイエース)を購入
平成 28 年	4 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 70 名となる。
平成 29 年	3 月	高機能消防指令センター（Ⅰ型）の更新
平成 31 年	1 月	化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型、日野自動車)の更新
令和 元年	12 月	火災原因調査車（トヨタハイエース）を購入
令和 元年	12 月	高規格救急車及び高度救命用資機材を整備

歴　代　消　防　長

歴 代	氏　　名	在職年数	在 職 期 間	摘　　要
初 代	平　塚　二　郎	6.7	S 31. 4 ～ S 37.10	市長(兼)消防長
2 代	阿　部　金　蔵	17.5	S 37.11 ～ S 55. 3	〃
3 代	篠　原　盛　男	3.0	S 55. 4 ～ S 58. 3	
4 代	村　山　伝　吉	2.0	S 58. 4 ～ S 60. 3	
5 代	清　野　昭治郎	3.0	S 60. 4 ～ S 63. 3	
6 代	太　賀　幸　作	2.0	S 63. 4 ～ H 2. 3	
7 代	佐　藤　康　一	2.0	H 2. 4 ～ H 4. 3	
8 代	村　山　健　吉	2.0	H 4. 4 ～ H 6. 3	
9 代	佐　藤　顯一郎	4.0	H 6. 4 ～ H 10. 3	
10 代	大　沼　利　成	1.0	H 10. 4 ～ H 11. 3	
11 代	矢　野　建　史	3.0	H 11. 4 ～ H 14. 3	
12 代	渡　邊　渡貴雄	2.0	H 14. 4 ～ H 16. 3	
13 代	山　口　勝　雄	2.0	H 16. 4 ～ H 18. 3	
14 代	安　喰　順　一	1.0	H 18. 4 ～ H 19. 3	
15 代	大　沼　　　武	1.0	H 19. 4 ～ H 20. 3	
16 代	伊　藤　正　雄	2.0	H 20. 4 ～ H 22. 3	
17 代	三　瓶　幸　雄	1.0	H 22. 4 ～ H 23. 3	
18 代	荒　澤　三　滋	1.0	H 23. 4 ～ H 24. 3	
19 代	武　田　　　忍	1.0	H 24. 4 ～ H 25. 3	
20 代	三　浦　正　行	1.0	H 25. 4 ～ H 26. 3	
21 代	野　口　忠　司	1.0	H 26. 4 ～ H 27. 3	
22 代	工　藤　　　仁	1.0	H 27. 4 ～ H 28. 3	
23 代	髙　橋　正　義	2.0	H 28. 4 ～ H 30. 3	
24 代	新　関　知　己	2.0	H 30. 4 ～ R 2. 3	
25 代	松　田　豊　太		R 2. 4 ～	

歴　代　消　防　次　長

歴 代	氏　　名	在職年数	在 職 期 間	摘　　要
初 代	佐　藤　　　茂	2.3	S 44. 9 ～ S 46.12	非常勤
2 代	伊　藤　正　雄	1.0	H 19. 4 ～ H 20. 3	H18.4～　(兼)消防署長
3 代	長　岡　　　清	1.0	H 20. 4 ～ H 21. 3	

歴　代　消　防　署　長

歴 代	氏　　名	在職年数	在 職 期 間	摘　　要
初 代	梅　津　　貢	5.0	S 31. 4 ～ S 36. 3	
2 代	佐　藤　　茂	5.7	S 36. 4 ～ S 41.11	(兼)庶務課長 S39.4.1～
3 代	長谷川　吾　一	5.9	S 41.12 ～ S 47.10	S45.7.1～総務課長に変更
4 代	篠　原　盛　男	2.5	S 47.11 ～ S 50. 6	
5 代	後　藤　善次郎	0.7	S 50. 7 ～ S 51. 1	
6 代	工　藤　英　基	1.2	S 51. 2 ～ S 52. 3	
7 代	津　藤　権　七	1.0	S 52. 4 ～ S 53. 3	
8 代	大　沼　弘太郎	2.0	S 53. 4 ～ S 55. 3	
9 代	篠　原　盛　男	2.0	S 55. 4 ～ S 57. 3	消防長(兼)消防署長
10 代	結　城　和　郎	7.0	S 57. 4 ～ H 元. 3	(兼)総務課長
11 代	三　瓶　英　祐	6.0	H 元. 4 ～ H 7. 3	(兼)総務課長
12 代	手　塚　　稔	1.0	H 7. 4 ～ H 8. 3	
13 代	鈴　木　芳　孝	1.0	H 8. 4 ～ H 9. 3	
14 代	近　野　昭　一	5.0	H 9. 4 ～ H 14. 3	
15 代	庄　司　征　夫	3.0	H 14. 4 ～ H 17. 3	
16 代	安　喰　順　一	1.0	H 17. 4 ～ H 18. 3	
17 代	伊　藤　正　雄	2.0	H 18. 4 ～ H 20. 3	
18 代	三　瓶　幸　雄	2.0	H 20. 4 ～ H 22. 3	
19 代	三　浦　正　行	3.0	H 22. 4 ～ H 25. 3	
20 代	工　藤　　仁	2.0	H 25. 4 ～ H 27. 3	
21 代	佐　藤　光　則	3.0	H 27. 4 ～ H 30. 3	
22 代	原　田　啓　之	2.0	H 30. 4 ～ R 2. 3	
23 代	瀬　野　　充		R 2. 4 ～	

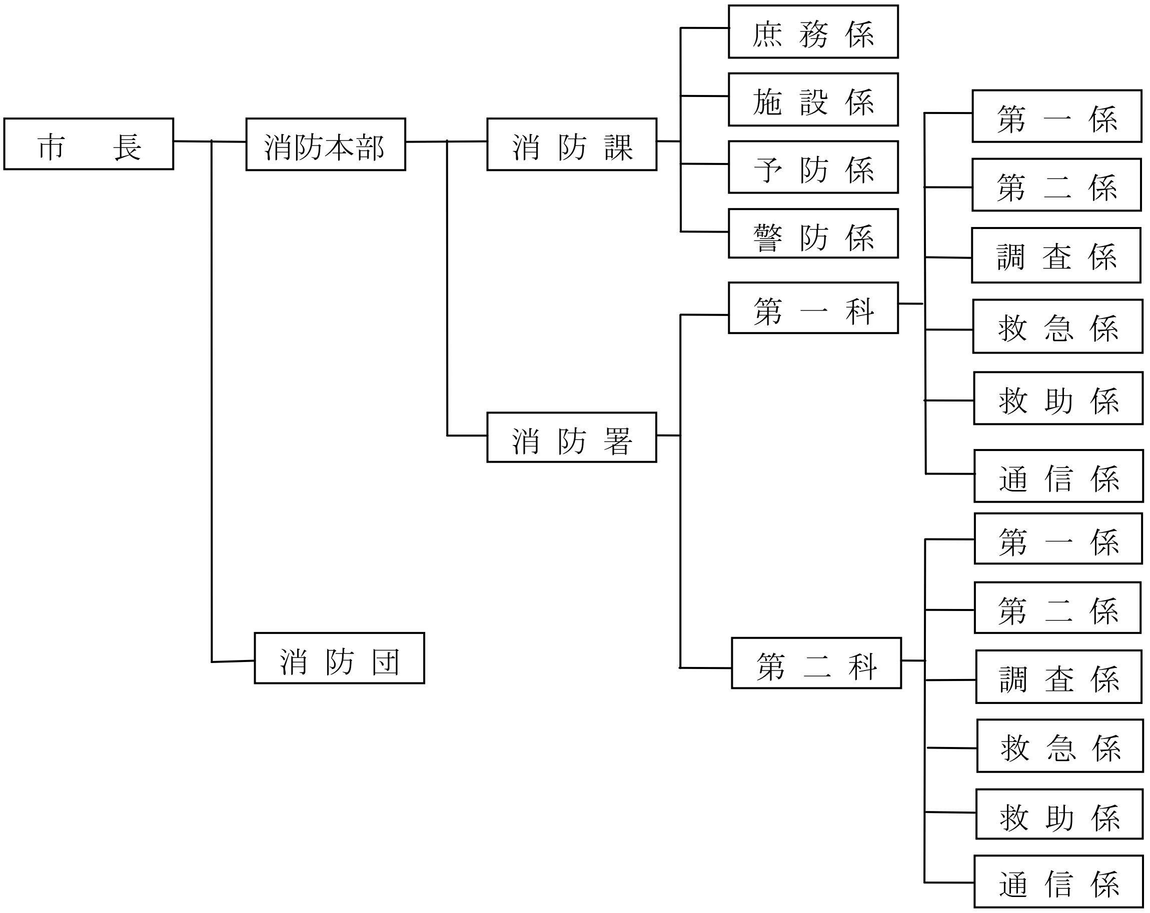
天童市行政組織機構図

- 市長
  - 副市長
    - 総務部
      - 総務課　行政係、職員係、情報システム係、統計調査係
      - 財政課　財政係、管財車両係、契約検査係
      - 市長公室　まちづくり推進係、政策企画係、秘書係、広報係
      - 危機管理室　危機管理係、防災係
      - ふるさと納税推進室
      - 税務課　管理諸税係、市民税係、固定資産税係
      - 納税課　収納管理係、納税係
    - 健康福祉部
      - 社会福祉課　調整係、障がい支援係、保護係
      - 保険給付課　国保医療係、介護給付係、介護支援係
      - 健康課　健康企画係、市民健康係、母子保健係、発達支援係
      - 子育て支援課　家庭支援係、児童育成係
        - 保育園　（舞鶴、さくら、みどり、いなほ）
        - 児童館　（寺津、山口）
    - 市民部
      - 生活環境課　市民安全係、環境保全エネルギー係、環境美化衛生係
      - 市民課　記録年金係、市民係、戸籍係
      - 文化スポーツ課　芸術文化係、スポーツ振興係
    - 経済部
      - 農林課　庶務係、農政係、農業振興係、農村整備係、森林保全係
      - 商工観光課　商工労政係、観光物産係
      - 産業立地室　企業誘致係、産業立地係
    - 建設部
      - 建設課　庶務係、維持係、改良係、建築指導係
      - 都市計画課　計画係、都市整備係、公園係
  - 会計管理者
    - 会計課　審査係、金銭出納係
  - 上下水道事業所
    - 上下水道課　経営企画係、給排水係、水道施設係、下水道施設係
  - 天童市民病院
    - ・医療部　内科・外科・産婦人科・小児科・皮膚科・整形外科・脳神経外科・放射線科
    - ・診療技術部　診療放射線科・臨床検査科・リハビリテーション科・薬剤科・栄養科
    - ・看護部
    - ・地域医療連携室
    - ・事務局（経営企画係、医療情報管理係）
  - 消防本部
    - 消防課　庶務係、施設係、予防係、警防係
    - 消防署　第一科、第二科

- 教育委員会
  - 事務局
    - 教育総務課　庶務係、管理係
      - 学校給食センター
    - 学校教育課　学事係、指導係、教職員係
    - 生涯学習課　文化財係、学習推進係
      - 公民館(13)
      - 勤労青少年ホーム
      - 青少年指導センター
      - 高原の里交流施設「ぽんぽこ」
    - 小・中学校　小学校(12)、中学校(4)

- 選挙管理委員会
  - 事務局
- 監査委員
  - 事務局
- 農業委員会
  - 事務局
- 議会
  - 事務局　庶務係、議事係、調査係
- 固定資産評価審査委員会
  - 事務局

消　防　の　組　織　機　構　図



消　防　職　員　配　置　状　況

所属別＼階級別			合　計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防本部	消防長		1	1					
消防本部	消防課	消防課長	1		1				
消防本部	消防課	庶務係	3		1	1		1	
消防本部	消防課	施設係	1		1				
消防本部	消防課	予防係	3			1	2		
消防本部	消防課	警防係	1			1			
消防本部	消防課	課付	1			1			
消防本部	小計		11	1	3	4	2	1	
消防署		消防署長	1		1				
消防署		第一科	26		3	8	3	5	7
消防署		第二科	27		4	6	3	6	8
消防署		署付	1		1				
消防署		小計	55		9	14	6	11	15
合　計			66	1	12	18	8	12	15

消　防　本　部　の　分　掌　事　務

１　庶　務　係

（１）　消防本部の組織及び運営に関すること。
（２）　予算及び決算に関すること。
（３）　職（団）員の任免、給与、服務、分限、懲戒等の事務に関すること。
（４）　職（団）員の福利、厚生及び公務災害に関すること。
（５）　職（団）員等の報償及び表彰に関すること。
（６）　公印の保管に関すること。
（７）　職員等の被服貸与に関すること。
（８）　文書及び物品の収受発送に関すること。
（９）　消防団に関すること。
（10）　消防審議会に関すること。
（11）　他の係の所掌に属しないこと。

２　施　設　係

（１）　消防施設の整備計画に関すること。
（２）　消防施設の維持管理に関すること。
（３）　通信施設の整備保全に関すること。
（４）　消防機械及び器具の整備保全に関すること。
（５）　その他消防施設及び装備に関すること。

３　予　防　係

（１）　建築物の建築確認申請に伴う消防同意事務に関すること。
（２）　危険物施設の許認可、指導等に関すること。
（３）　消防用設備等の設置届の検査指導に関すること。
（４）　危険物の保安に関すること。
（５）　火災予防計画及び普及宣伝に関すること。
（６）　火災の調査及び危険物に係る流出等の事故の原因の調査に関すること。
（７）　火災報告に関すること。
（８）　消防用設備点検報告の届出に対する審査及び指導に関すること。
（９）　防火対象物の定期点検報告制度に伴う立入調査及び指導に関すること。
（10）　火薬類（煙火に限る。）の規制に関すること。
（11）　液化石油ガスの規制に関すること。
（12）　その他火災の予防に関すること。

４ 警 防 係

（１） 消防計画及び訓練に関すること。
（２） 水防計画及び訓練に関すること。
（３） 火災警報発令に関すること。
（４） 気象情報の収集連絡に関すること。
（５） 災害情報の収受連絡に関すること。
（６） 職（団）員の教養訓練に関すること。
（７） その他警防に関すること。

消 防 署 の 所 掌 事 務

（１） 火災の予防、警戒及び防ぎょに関すること。
（２） 消防対象物の立入検査及び指導に関すること。
（３） 機械器具の手入れ及び保管に関すること。
（４） 消防水利の調査及び確保に関すること。
（５） 危険物の規制に関すること。
（６） 消防操法訓練の指導に関すること。
（７） 気象観測及び通報に関すること。
（８） 救急活動に関すること。
（９） 救急統計に関すること。
(10) 救急知識の普及指導に関すること。
(11) 救急情報に関すること。
(12) 救助業務に関すること。
(13) 救助資機材の管理に関すること。
(14) 消防通信及び一般連絡に関すること。
(15) 無線通信に関すること。
(16) 通信指令情報の管理及び運用に関すること。
(17) その他消防、救急、救助及び通信等消防業務に関すること。

消　防　予　算

1　消防費予算（当初）の年度別比較

（単位：千円）

区分／年度別	一般会計予算 A	消防費 B	比較（%） B/A×100	消防費内訳 常備消防費	非常備消防費	消防施設費
平成28年度	24,760,000	960,217	3.88	854,528	72,060	33,629
平成29年度	24,290,000	671,703	2.77	500,035	115,315	56,353
平成30年度	23,960,000	820,533	3.42	653,824	123,998	42,711
平成31年度	26,050,000	742,990	2.85	579.223	92,571	71,196
令和2年度	26,280,000	751,635	2.86	557,218	119,028	75,389

2　市民一人・世帯当りの消防予算

（単位：円）

区分／年度別	消防費	人口（人）	一人当りの消防費	世帯数（世帯）	一世帯当りの消防費
平成28年度	960,217,000	62,086	15,466	21,254	45,178
平成29年度	671,703,000	62,034	10,828	21,618	31,071
平成30年度	820,533,000	61,850	13,266	21,861	37,534
平成31年度	742,990,000	61,914	12,000	22,199	33,470
令和2年度	751,635,000	61,920	12,139	22,494	33,415

※ 人口・世帯数は、3月31日現在

消防職員年齢及び階級別職員数

令和２年４月１日現在

階級／年齢	合計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
２０歳未満	2						2
20歳 ～ 24歳	11						11
25歳 ～ 29歳	17				4	11	2
30歳 ～ 34歳	7			2	4	1	
35歳 ～ 39歳	4			4			
40歳 ～ 44歳	7			7			
45歳 ～ 49歳	9		4	5			
50歳 ～ 54歳	5		5				
５５歳以上	4	1	3				
合計	66	1	12	18	8	12	15
平均年齢	35.2						

消防職員の階級別勤続年数

令和２年４月１日現在

階級／年数	合計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
５年未満	16		1			2	13
５年～９年	13				1	10	2
10年～14年	9			2	7		
15年～19年	4			4			
20年～24年	6			6			
25年～29年	7		1	6			
30年～34年	7		7				
３５年以上	4	1	3				
合計	66	1	12	18	8	12	15
平均勤続年数	14.9						

消防力の整備指針に関する概要

消防本部・署所の人員

令和２年４月１日現在

			算定台数（台）	算定台数等に対する人員の算定数（人）		整備台数（非常用を除く）（台）	整備台数等に対する人員の算定数（人）		現員数（人）	
警防要員	指揮隊員	指　揮　車	1	12		1	12			
警防要員	消防隊員	消防ポンプ自動車	4	60		2	30			
警防要員	消防隊員	はしご自動車	1			1				
警防要員	消防隊員	化学消防車	1			1				
警防要員	消防隊員	特殊車等　小型動力ポンプ付水槽車	1			1				
警防要員	消防隊員	特殊車等　資機材搬送車	1			1				
警防要員	消防隊員	特殊車等　人員搬送車	1			1				
警防要員	救急隊員	救急自動車	4	36		4	36			
警防要員	救助隊員	救助工作車	1	15		1	15			
警防要員	小　　　計		15	123	①	13	102	⑤	50	⑨
通　　信　　員				5	②		5	⑥	4	⑩
予　防　要　員				27			27		3	
	うち専任の予防要員			24	③		24	⑦	3	⑪
庶務等の処理人員				8	④		8	⑧	9	⑫
合　　　計			**15**	**160**	ア	**13**	**130**	イ	**66**	ウ

※　ア＝①＋②＋③＋④、　イ＝⑤＋⑥＋⑦＋⑧、　ウ＝⑨＋⑩＋⑪＋⑫

	算定台数等に対する人員の算定数（人）ア	整備台数等に対する人員の算定数（人）イ	現員数（人）ウ	算定台数等の算定数に対する充足率（％）ウ/ア×100	整備台数等の算定数に対する充足率（％）ウ/イ×100
消　防　吏　員	160	130	66	41.3	50.8

消防職員消防学校等入校調

科目 / 年度別	合計	消防大学校等								山形県消防学校																安全運転中央研修
		幹部科	救助科	予防科	警防科	火災調査科	自主防災組織育成コース	救急救命士	指導救命士	初任科	警防科	特殊災害科	救助科	予防科	予防査察科	危険物科	火災調査科	救急科（Ⅰ課程）	救急科（Ⅱ課程）	救急科(標準課程)	救命士追加講習	救命士再教育講習	初級幹部科	幹部科	梯子自動車操作科	
平成20年度以前	121		1					9		32		1	7	3	1	2	1	4	4	21	6	18	2		7	2
平成21年度	9									3			1		1					1		2				1
平成22年度	11				1			1		2			1				1			1		2			2	
平成23年度	8									1		1	1			1				2		2				
平成24年度	11							1		2	1		1		1					2		2		1		
平成25年度	13			1						5		1	1				1			2		2				
平成26年度	13						1	1		3	1		1			1				2		2		1		
平成27年度	22		1				1		1	3		1	2		1					2	8	2				
平成28年度	21				1		1	1		2	1		2				1			2	8				2	
平成29年度	15					1			1	4		1	2		1	1				2		2				
平成30年度	14				1			1		3	1		2				1			2		2		1		
令和元年度	16		1				1		1	4		1	2		1					2	1				2	
合計	274		3	1	3	1	4	14	3	64	4	6	23	3	6	5	5	4	4	41	23	36	2	3	13	3

消防職員教育実施状況

学校科別等 ＼ 階級		合計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防大学校等	幹部科							
	救助科	3		1	2			
	予防科	1		1				
	警防科	3		1	2			
	火災調査科	1			1			
	自主防災組織育成コース	4			3	1		
	救急救命士	14	1	5	8			
	指導救命士	2		1	1			
山形県消防学校	初任科	62	1	11	17	8	12	13
	警防科	4		1	3			
	特殊災害科	6		1	4	1		
	救助科	23		4	10	6	3	
	予防科	3		2	1			
	予防査察科	6		1	2		3	
	危険物科	5		1	2	2		
	火災調査科	5			4	1		
	救急科（Ⅰ課程）	4	1	3				
	救急科（Ⅱ課程）	4	1	3				
	救急科（標準課程）	42		8	18	7	7	2
	救命士追加講習	17	1	5	7		4	
	救命士再教育講習	15	1	5	6		1	
	初級幹部科	2		1	1			
	幹部科	3		1	2			
	梯子自動車操作科	12		5	3	3	1	
安全運転中央研修		3		3				

消防職員特殊技能資格取得状況

種別＼階級		合計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
運転免許	大型Ⅰ種	46	1	10	18	8	9	
	大型Ⅱ種	5			4	1		
	普通Ⅰ種	65	1	11	18	8	12	15
	普通Ⅱ種	5			4	1		
	大型特殊	13	1	9	3			
	自動二輪	33	1	9	11	7	4	1
整備免許	ガソリン							
	ディーゼル							
	シャーシ	1		1				
無線免許	特殊(電話)	60		9	18	8	12	13
	アマチュア	6	1	5				
危険物取扱者(乙種)		60	1	9	17	8	12	13
消防設備士(乙種)		3		2			1	
小型船舶操縦士		23		3	14	6		
ガス溶接講習修了		1		1				
ボイラー技師		1		1				
移動式クレーン免許		39	1	8	18	7	5	
玉掛技能		32	1	5	15	8	3	
衛生管理者		3		2	1			
酸素欠乏危険作業主任者		22		4	12	3	3	
特定化学物質等作業主任者		9	1	2	1	5		
有機溶剤等作業主任者		15		3	10	2		

消防施設・機械器具

消 防 庁 舎 の 概 要

施設の規模及び構造

1 敷 地 面 積　　　5,912.84 ㎡

2 庁　　　舎

構　造　　鉄筋コンクリート造　一部２階建

面　積　　延 床 面 積　　1,708.59 ㎡

１階床面積　　1,041.95 ㎡

玄関ホール・車庫・仮眠室・待機室兼食堂・乾燥室・機械室
浴室・洗面所・便所・倉庫

２階床面積　　666.64 ㎡

事務室・消防長室・消防団本部室・災害対策室兼会議室
消防指令センター・通信機械室・印刷室・便所・更衣室

3 訓　練　塔

構　造　　鉄筋コンクリート造

（１）　Ａ　塔(主　塔)　　高　さ　16ｍ　　５階建
延面積　147.34 ㎡(5.2ｍ×5.2ｍ)

（２）　Ｂ　塔(補助塔)　　高　さ　7.0ｍ　　２階建
延面積　54.08 ㎡(5.2ｍ×5.2ｍ)

（３）　そ　の　他

ホース乾燥設備(Ａ塔東面)・電気設備・排水設備
スプリンクラー実験設備・連結送水管設備

4 水 防 倉 庫

構　造　　軽量鉄骨ブレース構造

延面積　　59.54 ㎡(5.475ｍ×10.875ｍ)

5 施　　　設

（１）　消防緊急情報施設
（２）　緊急自動車出動表示施設
（３）　電光掲示板告知板
（４）　無線統制塔　庁舎屋上鉄骨造
（５）　非常電源設備
（６）　太陽光発電・蓄電設備
（７）　防 火 水 槽　１基（120 ㎥）
（８）　消　火　栓　２基

消防本部・署車両の現有状況

	車 両 区 分	登録年月、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
消防本部	防 火 号	H 4 年 9 月 トヨタハイエース	2000cc	27 年	山形トヨペット㈱	(寄)日本防火協会
	訓練指導車	H18 年 8 月 マツダタイタン	2000cc	13 年	㈱東北マツダ	(寄)宝くじ協会
	本部指揮車	H 9 年 7 月 日産テラノ	3300cc	22 年	山形日産自動車㈱	一般単独事業
消防署	指 揮 隊 車	H26 年 2 月 トヨタハイエース	2693cc	6 年	山形トヨペット㈱	社会資本整備総合交付金
	消防ポンプ自 動 車	H21 年 11 月 日野デュトロ	CD-Ⅰ型 A-2 級	10 年	㈱モリタ ㈱長谷川ポンプ	地域活性化事業
	水 槽 付ポ ン プ 車	H21 年 2 月 日野レンジャー	Ⅱ型 A-2 級	11 年	㈱モリタ ㈱長谷川ポンプ	緊急消防援助隊設備整備費補助事業
	化 学 消 防ポ ン プ 車	H31 年 1 月 日野レンジャー	Ⅱ型 A-2 級	2 年	㈱モリタ ㈱長谷川ポンプ	一般単独事業
	は し ご 車	H23 年 3 月 日野・モリタMH－Ⅱ	35m級	9 年	㈱モリタ ㈱長谷川ポンプ	一般単独事業
	救助工作車	H18 年 10 月 日野レンジャー	Ⅱ型 6400cc	13 年	帝 国 繊 維 ㈱	緊急消防援助隊設備整備費補助事業
	小型動力ポンプ付水槽車	H14 年 12 月 いすゞフォワード	10 ㎥ B-2 級	17 年	㈱長谷川ポンプ	超高圧噴霧消火装置 自動混合消火装置
	救 急 1 号 車	R1 年 12 月 トヨタハイメディック	2693cc	1 年	山形トヨタ自動車㈱	一般単独事業
	救 急 2 号 車	H25 年 2 月 トヨタハイメディック	2693cc	7 年	山形トヨタ自動車㈱	社会資本整備 総合交付金
	救 急 3 号 車	H20 年 1 月 トヨタハイメディック	2693cc	12 年	山形トヨタ自動車㈱	施設整備事業（一般財源化分）・一般単独事業
	救 急 4 号 車	H13 年 3 月 トヨタハイメディック	3300cc	19 年	山形トヨタ自動車㈱	(寄)日本損害保険協会
	救 急 5 号 車	H 8 年 2 月 トヨタハイメディック	4000cc	24 年	山形トヨタ自動車㈱	国庫補助事業
	救助支援車	H 7 年 8 月 三菱ふそうファイター	7540cc	24 年	太 平 興 業 ㈱	一般単独事業
	災害搬送車	H22 年 1 月 トヨタコースター	4000cc	10 年	山形トヨタ自動車㈱	地域活性化事業
	火 災 原 因 調 査 車	R1 年 12 月 トヨタハイエース	2693cc	1 年	山形トヨタ自動車㈱	一般単独事業

救助隊等装備資器材

分　類	品　名	数　量
一般救助用器具	かぎ付はしご	4
	三連はしご	5
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	3
	空気式救助マット	2
	救命索発射銃	3
	サバイバースリング又は救助用縛帯	１３
	平担架	3
	ロープ	※
	カラビナ	１２６
	滑車	１８
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1
	油圧スプレッダー	0
	可搬式ウィンチ	3
	ワイヤーロープ	２２
	マンホール救助器具	2
	救助用簡易機重機	0
切断用器具	油圧切断機	3
	エンジンカッター	4
	ガス溶断器	1
	チェーンソー	4
	鉄線カッター	6
破壊用器具	万能斧	１７
	ハンマー	5
	携帯用コンクリート破壊器具	2
検知・測定用器具	生物剤検知器	0
	化学剤検知器	0
	可燃性ガス測定器	3
	有毒ガス測定器	4
	酸素濃度測定器	3
	放射線測定器	4
呼吸保護用器具	空気呼吸器	２５
	空気補充用ボンベ	７４

※1 巻２００ｍを適宜切断

分　類	品　名	数　量
隊員保護用器具	革手袋	１５
	耐電手袋	9
	安全帯	２２
	防塵メガネ	7
	携帯警報器	２３
	防毒マスク	１０
	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	２４
	陽圧式化学防護服	3
	耐熱服	2
	放射線防護服（個人用線量計を含む。）	１２
検知用器具	簡易画像探索機	1
除染用器具	除染シャワー	1
	除染剤散布器	0
水難救助用器具	潜水器具一式	0
	流水救助器具一式	2
	救命胴衣	２５
	水中投光器	0
	救命浮環	１１
	浮標	0
	救命ボート	2
	船外機	2
	水中スクーター	0
	水中無線機	0
	水中時計	0
	水中テレビカメラ	0
山岳救助用器具	登山器具一式	0
	バスケット担架	4
その他の救助器具	投光器一式（投光器本体、三脚、電源ケーブル、発電機等）	7
	携帯投光器	２３
	携帯拡声器	１３
	携帯無線機	１３
	応急処置用セット	4
	車両移動器具	4
	その他の携帯救助工具	２４

分　類	品　名	数　量
重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ一式	2
	大型油圧スプレッダー	3
	救助用支柱器具	0
	チェーンブロック	0
切断用器具	空気鋸	2
	大型油圧切断機	2
	空気切断機	0
	コンクリート鉄筋切断用チェーンソー	0
破壊用器具	削岩機	2
	ハンマドリル	2
呼吸器用器具	酸素呼吸器(予備ボンベを含む。)	0
	簡易呼吸器	0
	防塵マスク	5 4
	送排風機	2
	エアラインマスク	0
隊員保護用器具	耐電衣	6
	耐電ズボン	6
	耐電長靴	6
	特殊ヘルメット	0
その他の救助用器具	緩降機	2
	ロープ登降機	7
	救助用降下機	0
	発電機	8

分　類	品　名	数　量
高度救助用器具	画像探索機	1
	地中音響探知機	0
	熱画像直視装置	2
	夜間用暗視装置	1
	地震警報器	0
	電磁波探査装置	0
	二酸化炭素探査装置	0
	水中探査装置	0
	検知型遠隔探査装置	0

地区別消防水利設置状況

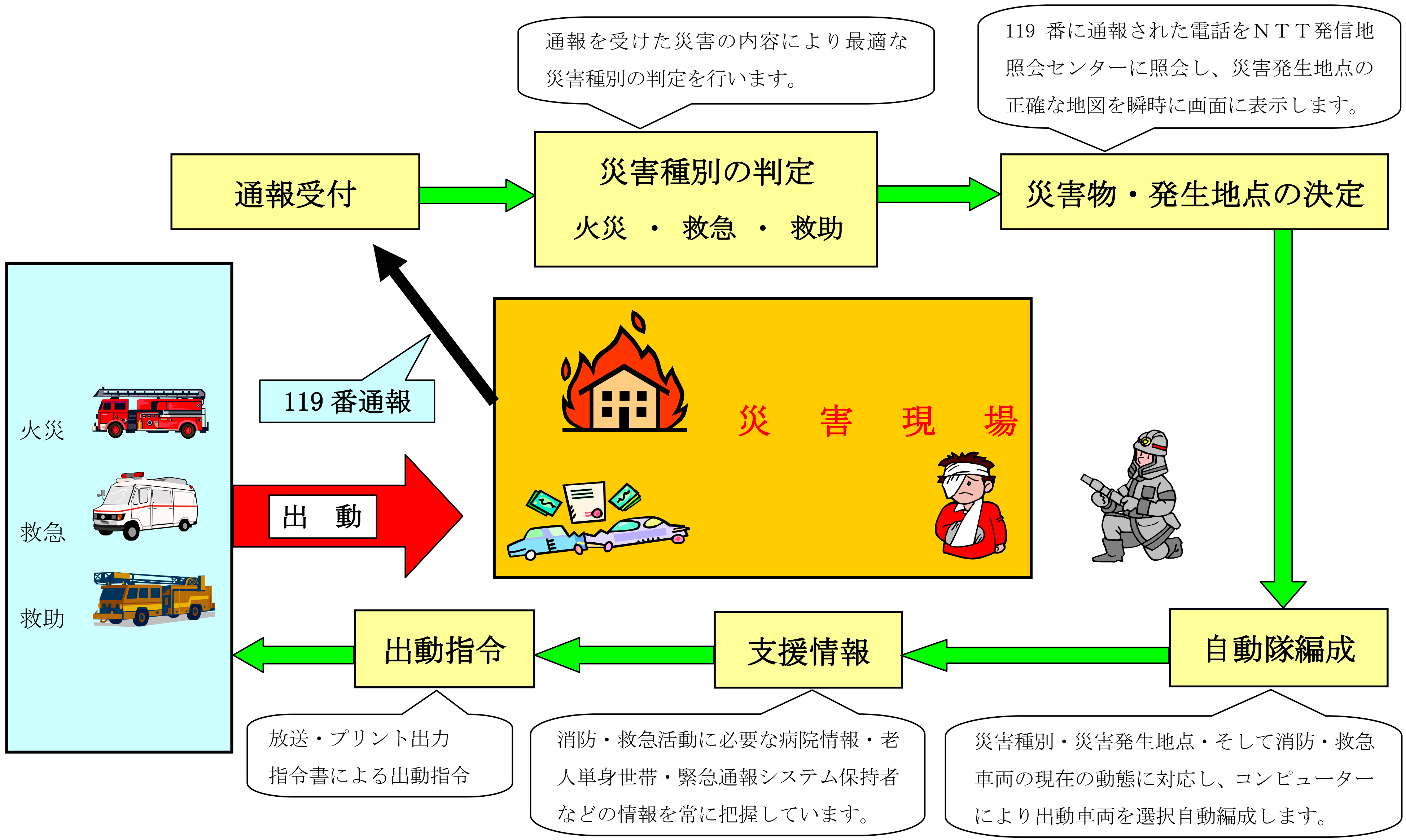
令和２年４月１日現在

区分		合計	天童	成生	蔵増	寺津	津山	田麦野	山口	高擶	干布	荒谷
公設消火栓	50 mm以下	**9**	1		2	1	1		3			1
	75 mm	**396**	151	37	30	7	23	8	56	49	13	22
	100 〃	**494**	149	35	32	21	52	9	45	91	39	21
	125 〃	**19**		14		2		1		2		
	150 〃	**332**	80	32	19	3	32		33	92	23	18
	200 〃	**136**	49	6	16	5	14		22	14	4	6
	250 〃	**18**	8				1			9		
	300 mm以上	**7**					3			3	1	
	小計	**1,411**	438	124	99	39	126	18	159	260	80	68
私設	小計	**5**	2				2				1	
公設防火水槽	20 m³未満	**18 (2)**	1				2	1		2	12 (2)	
	20 m³以上 40 m³未満	**62 (1)**	11	6 (1)	3	3	4	2	14	5	8	6
	40 m³以上 60 m³未満	**398**	70	38	36	21	40	10	74	61	35	13
	60 m³以上 100 m³未満	**10**	1			1			4	3		1
	100 m³以上	**19**	7				5		2	5		
	小計 ( )無蓋	**507 (3)**	90	44 (1)	39	25	51	13	94	76	55 (2)	20
私設	小計 (20 m³未満含まない)	**18**	8						2	3	3	2
その他	プール	**18**	4	1	2	1	1	1	2	2	2	2
	池	**5**	1				2		2			
	小計	**23**	5	1	2	1	3	1	4	2	2	2
合計		**1,966**	**543**	**169**	**140**	**65**	**182**	**32**	**261**	**341**	**141**	**92**

通 信 施 設 等 概 要

器	名	数量	備　　考
指　令　装　置	指令台Ｉ型	2 台	単座席型、FAX119 番受信、メール 119 受信
	自動出動指定装置	1 式	位置情報通知システム（統合型）
	地図検索装置	1 〃	各席対応型、指令台搭載分
	長時間録音装置	1 〃	ハードディスク録音、BR-RE バックアップ
	非常用指令装置	1 〃	指令制御装置と同一キャビネット内
	指令制御装置	1 〃	二重化構成回路、自己診断機能付
	レーザープリンタ	1 台	自動出動指定装置用、災害事案処理記録用
	カラープリンタ	1 〃	地図等検索装置用
	署所端末装置	1 式	待機室装置
	地図端末装置	2 台	事務室、待機室
表　示　盤	多目的情報表示盤	2 面	46 インチ 4 面マルチディスプレイ
	災害情報表示盤	2 〃	42 インチディスプレイ、待機室用
	情報表示盤	3 〃	会議室兼災害対策室、庁舎２階事務室、天童市役所
無　線　装　置	遠隔制御装置	2 台	消防波 1、消防波 2、主運用波、統制波
	署活動用携帯無線機	25 台	460MHz 帯アナログ方式消防用携帯型無線機
指 令 伝 送 装 置	指令情報送信装置	1 式	制御装置､ネットワーク機器等
	指令情報出力装置	1 〃	待機室用、指令書・事案終了書用プリンタ
気象情報収集装置		1 〃	プリンタ、データロガー装置等
災害情報等自動案内装置		1 台	テレドーム式 400 回線対応、遠隔操作機能等
順 次 指 令 装 置		1 〃	収容数３回線、遠隔操作機能等
音 声 合 成 装 置		1 式	規則合成方式
出動車両運用管理装置	管理装置（親局）	1 〃	消防無線回線
	車両運用端末装置	14 台	1・2 号車、水そう車、救助工作車、化学車、救助支援車、はしご車、救急 1・2・3・4・5 号車、指揮隊車、火災原因調査車、災害搬送車
	車外設定端末装置	14〃	
システム監視装置		1 式	システム監視装置、データ修正装置
電　源　設　備	無停電電源装置	1 〃	停電保障 9 分間以上　消防本部用
	無停電電源装置	1 〃	停電保障 9 分間以上　署所用
	直流電源装置(48Ｖ系)	1 〃	停電保障 6 時間以上　シール蓄電池
	非常用発動発電機	1 〃	商用電源停電時、庁舎全体のバックアップ用
拡　張　台		3 台	
現場画像伝送装置	映像送信装置（車載型）	2 台	車載型カメラ　２号車、救助工作車に車載
	映像送信装置（可搬型）	1 台	可搬型カメラ
	映像送信装置（スマホ）	2 台	スマートフォン型カメラ　中隊長、大隊長用
	受信装置	1 式	カメラコントローラー　多目的表示盤へ表示可
無　線　受　令　機		2 台	指令センター、待機室
災害事案等連携装置	災害事案連携サーバ	1 式	バックアップ装置含む
	災害連携事案ｸﾗｲｱﾝﾄ	1 〃	ノートパソコン 8 台、プリンタ、スキャナ等
	各 OA システム	1 〃	各係用、統計・管理システムソフト
監視カメラ装置		1 式	監視カメラ 6 台、録画機能付き
庁舎内放送設備		1 〃	
構内電話交換設備	電話交換機	1 〃	多機能電話機 11 台､電話機 12 台､PHS 5 台

高機能消防指令センターによる災害通報の受付から出動までの指令業務



予　　　　　　防

防　火　対　象　物

令和２年３月31日現在

項		用途	法第17条防火対象物	法第８条防火対象物	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	棟合計
(1)	イ	劇場等	9	9	1								1
	ロ	集会場等	92	30	2								2
(2)	イ	キャバレー等											
	ロ	遊技場等	11	9				1					1
	ハ	風俗店等											
	ニ	カラオケボックス等	2	2									
(3)	イ	料理店等											
	ロ	飲食店等	96	48									
(4)		百貨店等	167	79									
(5)	イ	旅館等	49	33	3	4	4	2	3	2	1		19
	ロ	共同住宅等	800	47	19	8	2	1	1	1			32
(6)	イ	病院等	48	13	4								4
	ロ	老人短期入所施設等	23	21	3								3
	ハ	老人デイサービス等	54	38	1								1
	ニ	幼稚園等	8	8									
(7)		学校等	57	57	5								5
(8)		図書館等	7	3									
(9)	イ	蒸気浴場等											
	ロ	一般浴場等	1										
(10)		車両停車場等											
(11)		神社・寺院等	49	8									
(12)	イ	工場等	456	120	11	4	3						18
	ロ	スタジオ等											
(13)	イ	車庫等	34	6									
	ロ	特殊格納等											
(14)		倉庫	325	6									
(15)		その他事業場	358	44	6	1							7
(16)	イ	特定用途の存する場合	281	70	7	1							8
	ロ	イ以外の複合用途	91	1	1								1
(16)の2		地下街											
(16)の3		準地下街											
(17)		文化財	2	2									
(18)		アーケード											
合計			**3,020**	**654**	**63**	**18**	**9**	**4**	**4**	**3**	**1**		**102**

消防用設備等設置現況

令和２年３月31日現在

対象物の区分 ＼ 消防用設備等			消火設備					警報設備				避難設備		その他	
			屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	特殊消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常警報設備	火災通報装置	避難器具	誘導灯	消防用水	連結送水管
(1)	イ	劇場等	6	1				9	1	7		1	6	1	
	ロ	集会場等	12	1	1			40	24	36		10	50		
(2)	イ	キャバレー等													
	ロ	遊技場等	1	1	2			11	4	8		4	11		1
	ハ	風俗店等													
	ニ	カラオケボックス等						2					2		
(3)	イ	料理店等													
	ロ	飲食店等	4					30	9	22		9	64		
(4)		百貨店等	17	5	1	1		91	21	63		3	128		
(5)	イ	旅館等	23	3				49	20	28	25	14	39		9
	ロ	共同住宅等	3	1	2			73	44	12		86	16		3
(6)	イ	病院等	3	3				22	9	15	7	2	47		
	ロ	老人短期入所施設等	2	22				24	2	8	22	4	23		
	ハ	老人デイサービス等	5	1				39	6	4	18	3	50		
	二	幼稚園等						8	3			3	8		
(7)		学校等	28					48	10	12		4	14		
(8)		図書館等	2					6	2	2			5		
(9)	イ	蒸気浴場等													
	ロ	一般浴場等	1					1					1		
(10)		車両停車場等													
(11)		神社・寺院等						4	16	29	1	1	4		
(12)	イ	工場等	90	3	13	32	5	236	27	6		3	72	6	2
	ロ	スタジオ等													
(13)	イ	車庫等			6			7							
	ロ	特殊格納等													
(14)		倉庫	29			8	2	160	5	1		3	29	1	
(15)		その他事業場	23		4	3	1	78	17	50		9	65	2	1
(16)	イ	特定用途の存する場合	9	9	4			118	33	37	10	19	167	1	
	ロ	イ以外の複合用途	1			1		10	2	3	1	5	4		
(16)の2		地下街													
(16)の3		準地下街													
(17)		文化財				1		2	1	1			1		
(18)		アーケード													
合計			**259**	**50**	**33**	**46**	**8**	**1,067**	**256**	**344**	**84**	**183**	**806**	**11**	**16**

各 種 届 出 受 理 状 況

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

項　　目	届 出 等 の 別	件　　数
防 火 管 理 関 係	防火・防災管理者選解任届	126
	消防計画届	158
	防火対象物点検結果報告	50
消防用設備関係	工事整備対象設備等着工届出書	52
	消防用設備等設置届	187
	消防用設備等点検結果報告書	668
危 険 物 関 係	譲渡引渡届	2
	廃止届	9
	保安監督者選解任届	20
	品名、数量、倍数変更届	4
	予防規程制定（変更）認可申請	9
	名称等変更届	14
	軽微な変更工事届	29
液 石 等 関 係	液化石油ガス、圧縮アセチレン等の届	50
火災予防条例関係	防火対象物使用開始届	68
	少量危険物、指定可燃物貯蔵取扱届	29
	少量危険物、指定可燃物貯蔵廃止届	22
	火を使用する設備等の設置届	9
	禁止行為の解除申請	7
	火災とまぎらわしい行為の届	57
	煙火打上げ届	89
	道路工事届	113
	その他の届出	49
県 委 任 事 務	液化石油ガス設備工事届	5
	煙火消費許可	0
合　　計		1826

危険物製造所等施設数

令和2年3月31日現在

製造所等の別／区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所			
			小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	販売	一般
5倍以下	161		141	17	7	4	38		75		20	4		16
5 ～ 10 〃	58		49	10	6	2	28	1	2		9			9
10 ～ 50 〃	64		27	6	6		12		2	1	37	19		18
50 ～ 100 〃	30		21		2		5		14		9	8		1
100 ～ 150 〃	7		3	1	1		1				4	4		
150 ～ 200 〃	6		5		4		1				1	1		
200 ～1,000〃	16										16	16		
合計	342		246	34	26	6	85	1	93	1	96	52		44

危険物製造所等規制事務申請件数

平成31年4月1日～令和2年3月31日

製造所等の別／区分		合計	製造所	貯蔵所								取扱所			
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	販売	一般
許可	設置	6		4						4		2	1		1
	変更	22		8		1		3		4		14	10		4
合計		28		12		1		3		8		16	11		5
完成	設置	8		5				1		4		3	2		1
	変更	17		7		1		3		3		10	6		4
合計		25		12		1		4		7		13	8		5
仮使用		13		1				1				12	8		4

危険物施設の推移（過去 15 年間）

毎年度 3 月 31 日現在の統計

年度 区分	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
製造所															
屋内貯蔵所	65	46	41	40	40	40	39	38	36	36	36	37	35	34	34
屋外タンク貯蔵所	38	32	30	29	29	28	27	27	27	27	27	27	26	26	26
屋内タンク貯蔵所	5	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6
地下タンク貯蔵所	127	127	124	122	120	119	116	114	104	100	97	93	88	88	85
簡易タンク貯蔵所	5	5	4	4	4	4	2	2	2	2	2	2	1	1	1
移動タンク貯蔵所	104	94	95	96	92	91	88	89	91	92	93	96	96	94	93
屋外貯蔵所	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
給油取扱所	69	66	64	62	59	58	57	57	57	56	56	54	54	52	52
一般取扱所	52	51	51	51	52	51	51	50	46	46	46	44	45	43	44
合計	**468**	**430**	**417**	**412**	**404**	**399**	**388**	**385**	**371**	**367**	**365**	**360**	**352**	**345**	**342**

建　築　同　意

1　建築同意処理状況

区分 月別	合　計	新　築	増　築	改　築	計画変更	その他
4 月	7	6	1			
5 月	7	6			1	
6 月	11	11				
7 月	10	9			1	
8 月	8	6			2	
9 月	7	5			2	
10 月	8	5	2		1	
11 月	5	5				
12 月	10	8			1	1
1 月	11	8			3	
2 月	6	4	1		1	
3 月	13	10	2		1	
合　計	103	83	6		13	1

2　年度別同意処理状況

	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	令和元年
同意件数	100	101	115	132	111	103

危険物取扱者試験準備講習状況

	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	令和元年
受講者数	42	52	57	43	28	31

警　　　　　　防

災害等受信状況

平成３１年1月１日から令和元年１２月３１日まで

受信月別		月計	受信比率	災害等				その他						他消防転送
				火災	救急	救助	その他	いたずら	まちがい	誤報	問い合わせ	通報訓練	その他	
合計		4,117		12	2,605	25	85	4	126	0	164	317	738	41
種別比率			100.0%	0.3%	63.3%	0.6%	2.1%	0.1%	3.1%	0.0%	4.0%	7.7%	17.9%	1.0%
平成３１年（令和元年）	１月	345	8.4%	0	241	3	6	0	7	0	22	10	53	3
	２月	300	7.3%	0	206	1	10	0	12	0	17	18	34	2
	３月	321	7.8%	1	214	1	7	0	5	0	16	16	57	4
	４月	350	8.5%	1	217	1	5	0	12	0	14	19	81	0
	５月	345	8.4%	3	221	2	3	0	10	0	13	31	57	5
	６月	403	9.8%	2	235	4	9	1	11	0	14	46	76	5
	７月	332	8.1%	0	192	1	10	0	13	0	9	28	77	2
	８月	370	9.0%	1	245	2	5	1	14	0	17	14	67	4
	９月	300	7.3%	1	200	3	6	0	6	0	11	21	48	4
	１０月	349	8.5%	0	204	0	10	1	21	0	14	50	46	3
	１１月	355	8.6%	2	205	3	6	0	9	0	9	39	79	3
	１２月	347	8.4%	1	225	4	8	1	6	0	8	25	63	6

受信種別		種別計	受信比率	災害等				その他						他消防転送
				火災	救急	救助	その他	いたずら	まちがい	誤報	問い合わせ	通報訓練	その他	
１１９番通報	固定電話	968	23.5%	1	566	3	6	4	37	0	21	160	170	0
	ＩＰ電話	1,322	32.1%	3	1,059	2	6	0	12	0	43	134	62	1
	携帯電話	1,204	29.2%	7	764	12	18	0	76	0	96	22	170	39
一般加入電話		503	12.2%	0	127	3	45	0	1	0	4	0	323	0
駆け込み		17	0.4%	0	14	0	0	0	0	0	0	0	3	0
専用線		83	2.0%	1	69	5	8	0	0	0	0	0	0	0
消防無線		8	0.2%	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他		11	0.3%	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	0

災　害　等　緊　急　出　動　状　況

平成３１年1月１日から令和元年１２月３１日まで

種別／月	合計			火災			救助			救急			自然災害等												緊急消防援助隊 山形県広域応援隊 隣接管外応援		
													風害			水害			土砂災害			その他災害					
	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数
１月	250	845	258	0	0	0	3	34	11	247	811	247															
２月	213	687	215	0	0	0	1	8	3	210	673	210													2	6	2
３月	219	723	228	1	15	4	2	30	8	215	674	215													1	4	1
４月	223	697	230	2	14	4	2	25	7	219	658	219															
５月	233	797	259	3	48	14	5	73	20	225	676	225															
６月	249	800	264	1	15	4	4	53	16	242	728	242													2	4	2
７月	198	609	202	0	0	0	2	21	6	196	588	196															
８月	254	811	262	0	0	0	3	36	11	251	775	251															
９月	208	667	214	1	3	1	4	33	10	203	631	203															
１０月	217	658	220	1	4	1	0	0	0	209	628	209				5	12	5							2	14	4
１１月	217	735	238	1	27	7	5	72	20	210	631	210													1	5	1
１２月	237	777	246	0	0	0	6	68	15	231	709	231															
合　計	2,718	8,806	2,836	10	126	35	37	453	127	2,658	8,182	2,658				5	12	5							8	33	10

その他の緊急出動状況

平成３１年１月１日から令和元年１２月３１日まで

種別＼月	合計			危険排除			緊急確認			連携 救護			連携 ドクターヘリ			誤報・虚偽通報 誤認・いたずら			その他		
	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数
１月	6	23	7	4	12	4	1	9	2	1	2	1				0	0	0			
２月	7	40	11	1	3	1	5	34	9	1	3	1				0	0	0			
３月	7	25	7	1	3	1	6	22	6	0	0	0				0	0	0			
４月	6	25	8	1	4	1	5	21	7	0	0	0				0	0	0			
５月	6	30	8	1	4	1	3	20	5	2	6	2				0	0	0			
６月	8	37	11	4	13	4	2	9	3	1	4	1				1	11	3			
７月	10	43	14	1	3	1	6	24	8	2	6	2				1	10	3			
８月	6	30	9	0	0	0	3	10	3	2	6	2				1	14	4			
９月	8	34	10	1	3	1	6	20	6	0	0	0				1	11	3			
１０月	8	33	10	2	6	2	3	17	5	3	10	3				0	0	0			
１１月	8	58	17	2	12	4	5	31	9	0	0	0				1	15	4			
１２月	8	41	11	2	7	2	3	14	4	2	7	2				1	13	3			
合　計	88	419	123	20	70	22	48	231	67	14	44	14				6	74	20			

※危険排除とは、電気、ガス、危険物、毒劇物、放射性物質、火気取扱、異臭等での火災の発生防止及び人的被害の軽減、危険の除去などの消防活動

※緊急確認とは、自動火災報知設備の作動、非常ベル鳴動、怪煙偵察等の緊急を要する現場確認

※連携とは、ポンプ隊、救助隊等が救急現場に出場し、救急隊、ドクターヘリ等と連携して救護、安全管理を行う消防活動

その他の出動状況

平成３１年１月１日から令和元年１２月３１日まで

種別	演 習・訓 練 等	広 報・指 導	警 防 調 査	特 別 警 戒
実施内容	演習等 消防出初式 1月6日　45 名　6 台 春季消防演習 4月14日　20 名　7 台 天童市林野火災防ぎょ訓練 5月26日　8 名　2 台 天童市総合防災訓練 10月6日　40 名　2 台 訓練等 旧津山公民館解体訓練 5月16・17日　44 名　8 台 水難救助訓練 7月9・10日　21 名　4 台 天童市災害対応図上訓練 7月12日　3 名　1 台 旧高擶駐在所災害警備訓練 8月6日　7 名　1 台 イオンモールＮＢＣ災害対応訓練 8月29日　27 名　6 台 山形県・新庄市合同総合防災訓練 8月31日　4 名　1 台 東北管区広域緊急消防援助隊合同訓練 9月18日　12 名　3 台 天童警察署合同山岳救助訓練 11月16日　20 名　4 台	広 報 巡回広報 0 件　0 名　0 台 火災予防広報 23 件　71 名　23 台 指 導 対市民（自主防災会等） 43 件　53 名　43 台 対防火対象物 129 件　324 名　129 台 [消防本部での 消防団に対する指導] 34 件　183 名	土砂災害危険箇所巡視 1 件　3 名　1 台 重要水防箇所巡視 2 件　4 名　2 台 防火対象物調査 3 件　10 名　3 台 地水利調査 29 件　91 名　30 台	年末年始 7 件　23 名　7 台 林野火災多発警報発令 3 件　9 名　3 台 建物火災多発警報 2 件　5 名　2 台
合計	14件　251名　45台	229件　631名　195台	35件　108名　36台	12件　37名　12台

訓練実施状況

平成３１年１月１日から令和元年１２月３１日まで

種別／月	合計		火災防ぎょ訓練		救助訓練		救急訓練		ポンプ車運用訓練		はしご車運用訓練		操縦訓練		水防訓練		教養		その他訓練	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
１月	23	171	7	49	11	74							1	1			2	25	2	22
２月	45	366	8	70	21	94	3	32	4	23	13	51	5	20			3	25	6	51
３月	61	364	8	60	18	117	4	37	5	16	16	62	7	16			5	49	2	7
４月	92	532	20	151	24	151	3	23	2	7	21	86	5	10			3	22	14	82
５月	52	521	6	76	39	310	2	16			23	84					1	12	3	23
６月	79	533	5	46	42	318	1	14	1	3	22	80	1	1			5	57	2	14
７月	79	565	9	108	20	190	4	45	2	7	32	127	3	6			3	34	6	48
８月	53	328	5	54	15	134	2	16			28	108	1	1			1	2	1	13
９月	44	297	3	34	16	126	3	27			19	81							3	29
１０月	57	357	8	79	11	65	2	9			24	111					2	23	10	70
１１月	70	477	14	137	17	137	4	46			31	135					3	19	1	3
１２月	57	364	8	87	11	96	1	12	2	25	23	92	7	28			3	18	2	6
合計	712	4,875	101	951	245	1,812	29	277	16	81	252	1,017	30	83			31	286	52	368

防火対象物等消防訓練実施状況

平成３１年１月１日から令和元年１２月３１日まで

	消防法施行令別表第一区分別訓練実施数																								自主防災会町内会等訓練			見学			合計		
	（一）イ・ロ 集会場 集会場含む 複合用途			（四） 百貨店 マーケット 店舗			（五）イ 旅館 ホテル			（六）イ 病院 診療所			（六）ロ・ハ・ニ 保育園 福祉施設 幼稚園			（七） 学校			（十二）イ 工場 作業所			左記以外の防火対象物											
	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員
１月	1	7		1	16		1	5					5	266	3	4	938		1	70		5	158	6							18	1,460	9
２月	2	18		5	87					1	6		6	310	3							9	281		1	10	1	2	129	12	26	841	16
３月	1	15		5	54		1	9	2	1	30		11	367	3				1	100		9	196	4							29	771	9
４月	4	62	2	3	12		3	39	2	3	310		1	540	7	4	1,176	5	1	30		9	289	8	4	325	4				32	2,783	28
５月	1	12		8	123	3	1	30	2	2	16		12	589	8	1	164		2	103		18	519	12	2	70	4	2	135	6	49	1,761	35
６月	3	54	2	9	146		7	128	6	3	217	2	23	1,463	23	2	1,134	5	4	716	5	13	197	13	3	190	5	3	115	10	70	4,360	71
７月				4	47	1	3	30	4	2	21	2	15	933	12	1	164		2	175		4	83	4	9	389	9	4	89	18	44	1,931	50
８月				2	46								12	548	6				3	250	4	6	131	7	2	160		1	13	4	26	1,148	21
９月				4	30		2	18		1	40	2	16	758	9	2	608		5	550	6	12	377	14	10	600	15	2	135	18	54	3,116	64
１０月	4	69	2	11	111	7	4	56	6	4	351	2	18	800	16	1	126		10	2,120	14	23	1,370	18	9	380	12	8	341	65	92	5,724	142
１１月	2	16	2	6	111	2	4	185	4	5	241	2	13	732	12				5	454	10	26	489	16	3	93	3	5	129	24	69	2,450	75
１２月	2	39	4	2	31		5	41	4				11	559	4							4	185	2							24	855	14
合計	20	292	12	60	814	13	31	541	30	22	1,232	10	143	7,865	106	15	4,310	10	34	4,568	39	138	4,275	104	43	2,217	53	27	1,086	157	533	27,200	534

＊各施設独自の自主訓練等も含む

災 害 等 出 動 状 況 （ 消 防 団 ）

平成３１年1月１日から令和元年１２月３１日まで

種別／月	合計			火災			管外応援火災			自然災害等									その他(非火災・誤報等)		
										風害			水害			土砂災害					
	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数
１月																					
２月																					
３月	1	60	21	1	60	21															
４月	2	57	22	1	54	21	1	3	1												
５月	3	274	86	3	274	86															
６月	3	76	28	1	51	21	1	6	3										1	19	4
７月	1	76	24																1	76	24
８月	1	9	3																1	9	3
９月	1	140	29																1	140	29
１０月	1	111	28										1	111	28						
１１月	3	200	45	1	177	38	1	9	3										1	14	4
１２月	1	52	16																1	52	16
合計	17	1055	302	7	616	187	3	18	7				1	111	28				6	310	80

降 雪 ・ 積 雪 記 録

観測年・・・当該年の降雪初期から翌年降雪終期まで(寒候期)　　単位・・・ｃｍ

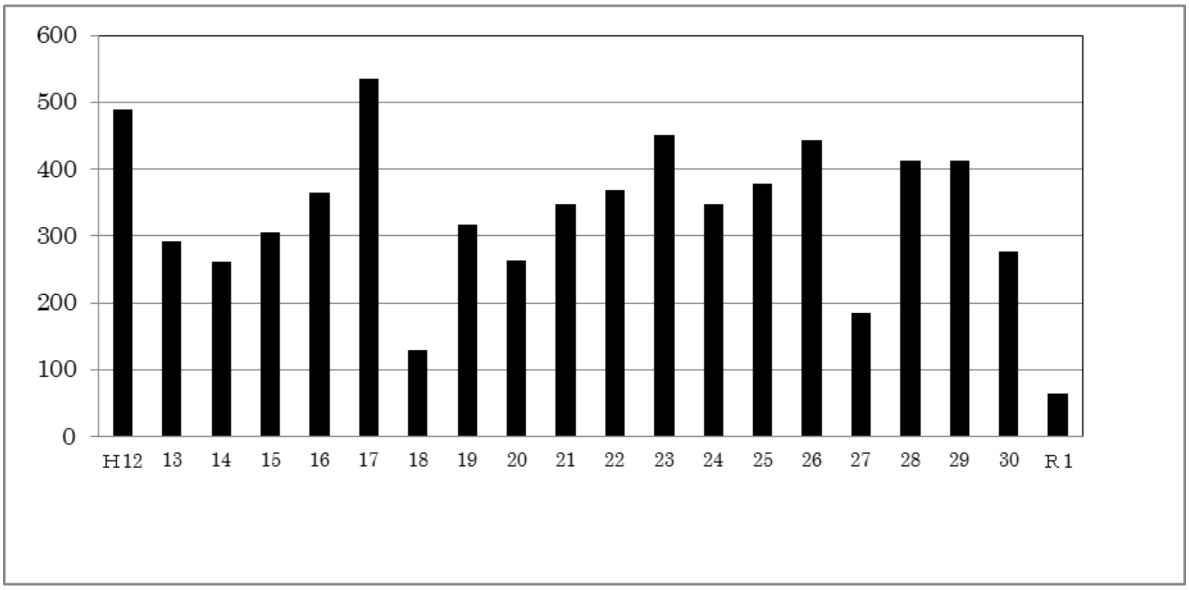
年　度	累　積 降雪量	最　高		最　高		初　雪		最　終		観測場所
		記録日	降雪量	記録日	積雪深	記録日	降雪量	記録日	降雪量	
平成 12 年	489.0	13. 1. 9	31	13. 1. 9	72	12.11.29		13. 4. 1		貫津 2512
平成 13 年	293.0	13.12.15	32	13.12.17	51	13.11.26		14. 3. 8	1	〃
平成 14 年	262.0	15. 1.30	46	15. 1.31	72	14.11. 6		15. 3.21	2	〃
平成 15 年	305.0	16. 1.23	40	16. 2. 8	57	15.12. 4		16. 4.25	1	〃
平成 16 年	366.0	17. 1.22	30	16. 2. 5	68	16.11.30		17. 4. 2		〃
平成 17 年	535.0	17.12.31	53	18. 1. 4	82	17.11.19		18. 4.21		桜町 2-1
平成 18 年	130.0	19. 1. 9	20	19. 1. 9	22	18.11.12		19. 4. 5		〃
平成 19 年	318.0	20. 1.25	29	20. 1.25	33	19.11.18		20. 3. 8		〃
平成 20 年	264.0	20.12.28	20	20.12.28	30	20.11.19		21. 3.29		〃
平成 21 年	347.0	21.12.20	30	21.12.20	40	21.11. 3		22. 4.17		〃
平成 22 年	368.0	23. 2. 1	27	23. 2. 1	65	22.12.14		23. 3.31	6	〃
平成 23 年	452.0	24. 2. 2	33	24. 2. 5	83	23.11.16		24. 4. 8		〃
平成 24 年	348.0	25. 1.15	36	25. 2.26	55	24.11.21		25. 4.21		〃
平成 25 年	378.0	26. 2. 9	37	25.12.29	50	25.11.11		26. 4. 7	1	〃
平成 26 年	443.0	26.12.18	35	27. 2.15	52	26.11.25		27. 3.25		〃
平成 27 年	185.0	28. 1.20	24	28. 1.25	41	27.12. 4		28. 3.26	1	〃
平成 28 年	413.0	29. 2. 3	42	29. 2. 3	52	28.11. 9		29. 3.28		〃
平成 29 年	412.0	30. 1.25	35	30. 2.12	56	29.11.16		30. 4.10		〃
平成 30 年	277.0	31. 1. 9	22	31. 1. 9	32	30.11.23	1	31. 4.11	7	〃
令和元年	64.0	R2.2.11	8	R2.2.11	8	元・11・20		R2. 4.6		〃

※寒候期とは、晩秋から春先までの期間で、冬の寒さや雪の多少を表すときに用いる。

累 積 降 雪 量

単位・・・ｃｍ

（観測期間・１１月～４月）



月別気象統計表

平成31年1月1日から令和元年12月31日まで

平成31年1月～令和元年12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温（℃）		-0.1	1.3	4.9	9.1	17.1	19.7	23.5	26.6	21.2	15.1	7.9	2.9
最高気温	気温（℃）	6.2	13.1	19.3	24.3	34.4	31.8	36.3	37.5	34.7	30.1	19.1	14.0
	記録日	10日	7日	20日	24日	27日	26日	27日	7日	8日	2日	1日	14日
最低気温	気温（℃）	-5.9	-4.5	-2.5	-2.3	4.1	11.4	14.1	16.9	9.9	3.2	-3.5	-3.9
	記録日	26日	8日	24日	3日	4日	2日	11日	27日	27日	16日	29日	16日
実効湿度（%）		90.9	82.1	72.9	68.4	63.2	77.5	83.0	79.7	82.6	85.3	80.9	88.4
降水量月合計（mm）		60.0	25.5	56.5	40.0	68.5	120.5	94.0	57.0	71.5	200.0	25.5	39.5
日最多降水量	降水量（mm）	12.5	10.0	17.0	9.5	20.5	22.0	31.5	15.5	31.5	88.5	9.5	8.5
	記録日	29日	4日	11日	11日	21日	5日	24日	23日	11日	12日	19日	14日
平均風速（m/s）		1.6	1.8	2.0	2.1	2.0	1.7	1.5	1.7	1.5	1.7	1.9	1.6
最大風速	風速（m/s）	18.1	17.3	18.4	19.5	20.3	16.3	13.6	14.9	19.9	18.1	18.0	10.4
	記録日	24日	4日	24日	6日	7日	17日	29日	15日	23日	12日	20日	12日

最高・最低気温及び降水量

最高気温	37.5	8月7日	最低気温	-5.9	1月26日
一日最多降水量	88.5	10月12日			
年降水量	858.5				

降雪期における積雪等

平成31年1月～令和元年12月		1月	2月	3月	4月	11月	12月	初雪
降雪量（月合計）（cm）		113.0	38.0	15.0	18.0	1.0	7.0	11月20日観測
日最大降雪量	降雪量（cm）	22.0	13.0	4.0	10.0	1.0	3.0	
	記録日	9日	2日	14.24日	3日	30日	28日	
積雪深（月最大）（cm）		32.0	28.0	4.0	10.0	1.0	3.0	

最大風速

最大風速	20.3	5月7日

真夏日及び熱帯夜

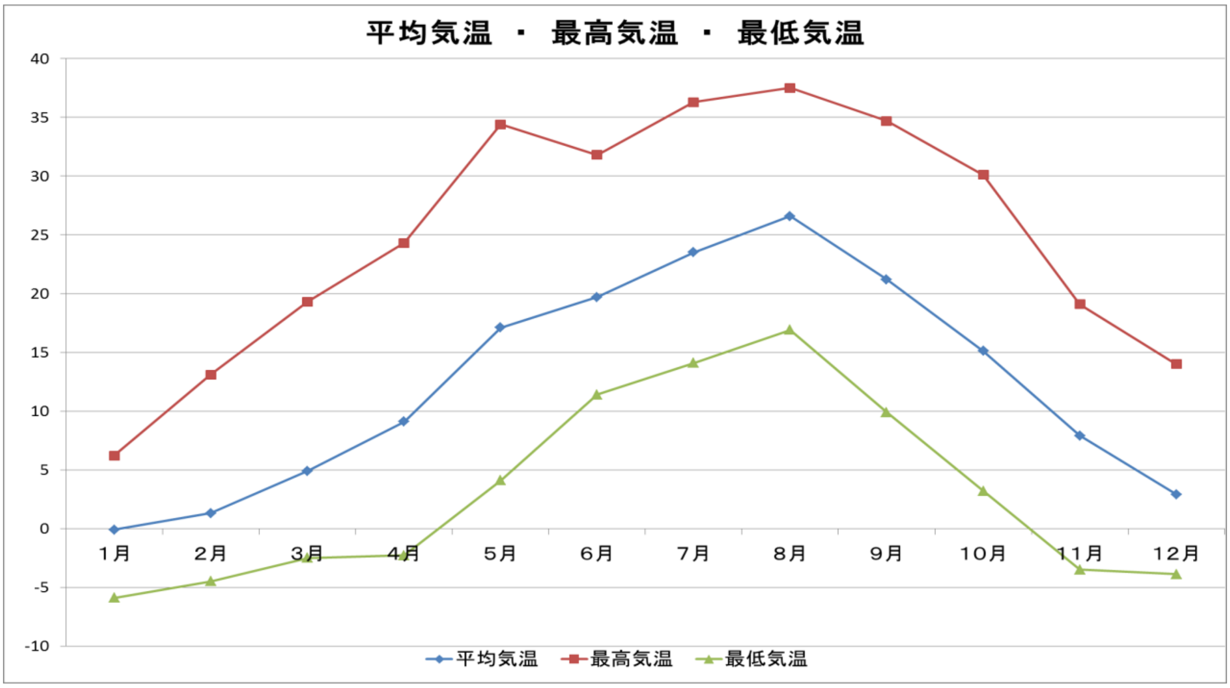
	5月	6月	7月	8月	9月	計
真夏日	3日	3日	11日	21日	7日	45日
熱帯夜	0日	0日	0日	1日	0日	1日

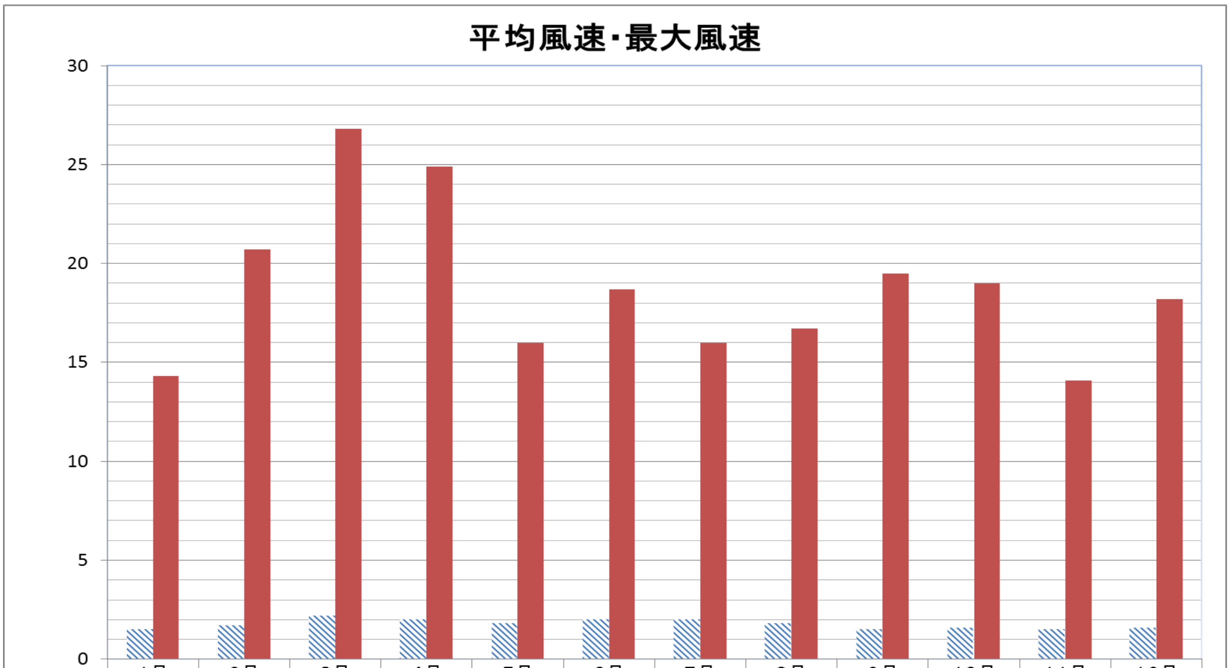
※真夏日とは30度を越えた日

※熱帯夜とは最低気温が25度以上の夜

月　別　気　温

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温	平均	−1.2	−1.2	5.1	11.2	16.4	20.6	26.6	24.8	19.9	14.7	8.3	2.0
	最低	−11.6	−8.7	−4.0	−0.2	4.3	10.4	16.7	13.6	11.7	4.1	−0.5	−6.7
		12日	2日	18日	14日	11日	15日	7日	18日	29日	26日	27日	30日
	最高	7.3	7.8	21.9	29.0	31.4	36.7	37.1	37.4	31.3	30.4	18.8	17.2
		18日	14日	28日	21日	16日	29日	31日	23日	5日	6日	9日	4日





	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均風速	1.5	1.7	2.2	2	1.8	2	2	1.8	1.5	1.6	1.5	1.6
最大風速	14.3	20.7	26.8	24.9	16	18.7	16	16.7	19.5	19	14.1	18.2

火　　災　　統　　計

火災発生状況（前年との比較）

区分		年	令和元年	平成30年	増・減（△）
出火件数	建物火災	件	6	7	△1
	林野火災		1	0	1
	車両火災		0	1	△1
	その他火災		3	7	△4
	合計		10	15	△5
焼損棟数	全焼	棟	0	3	△3
	半焼		1	0	1
	部分焼		2	2	0
	ぼや		4	4	0
	合計		7	9	△2
焼損面積	建物	㎡	表 4 床 58	表 29 床 320	表 △25 床 △262
	林野	a	1	0	1
罹災世帯数	全損	世帯	1	1	0
	半損		0	0	0
	小損		1	4	△3
	合計		2	5	△3
罹災人員		人	8	19	△11
死者			0	0	0
負傷者			2	1	1
損害額	建物火災	千円	13,489	34,830	△21,341
	林野火災		0	0	0
	車両火災		0	105	△105
	その他火災		0	35	△35
	合計		13,489	34,970	△21,481
出火率			1.6	2.4	△0.8

表・・・表面積　　床・・・床面積

月別火災発生状況

	火災種別					焼損棟数	焼損面積			罹災世帯数	死者	負傷者	損害額（千円）
	建物	車両	その他	林野	合計		建物（㎡）表	建物（㎡）床	林野(a)		（人）	（人）	
1													
2													
3				1	1				1				
4	1		1		2	1							7
5	3				3	3	1	11				1	809
6			1		1								
7													
8													
9			1		1								
10	1				1	1							25
11	1				1	2	3	47		2		1	12,648
12													
合計	**6**		**3**	**1**	**10**	**7**	**4**	**58**	**1**	**2**		**2**	**13,489**

表・・・表面積　　床・・・床面積

曜日別火災発生状況

	火災種別					焼損棟数	焼損面積			罹災世帯数	死者	負傷者	損害額（千円）
	建物	車両	その他	林野	合計		建物（㎡）表	建物（㎡）床	林野(a)		（人）	（人）	
日	1		1		2	1							7
月	3			1	4	3	1	11	1			1	834
火			1		1								
水			1		1								
木	1				1	2	3	47		2		1	12,648
金													
土	1				1	1							
合計	**6**		**3**	**1**	**10**	**7**	**4**	**58**	**1**	**2**		**2**	**13,489**

表・・・表面積　　床・・・床面積

時 間 別 火 災 発 生 状 況

	火災種別					焼損面積		損害額（千円）
	建物	車両	その他	林野	合計	建物（㎡）	林野（a）	
0 ～ 1								
1 ～ 2								
2 ～ 3								
3 ～ 4	1				1			25
4 ～ 5								
5 ～ 6	1				1	床 11		521
6 ～ 7								
7 ～ 8								
8 ～ 9								
9 ～ 10			1		1			
10 ～ 11			1		1			
11 ～ 12								
12 ～ 13								
13 ～ 14	1				1	表 1		288
14 ～ 15								
15 ～ 16			1		1			
16 ～ 17								
17 ～ 18	1				1	表 3　床 47		12,648
18 ～ 19								
19 ～ 20								
20 ～ 21								
21 ～ 22	1				1			
22 ～ 23								
23 ～ 24								
不明	1			1	2		1	7
合計	**6**		**3**	**1**	**10**	**表 4　床 58**		**13,489**

表・・・表面積　　床・・・床面積

原因別火災発生状況

原　　因	令和元年				平成30年	増・減(△)(件数)
	件数	焼損面積		損害額(千円)	件数	
		建物(㎡)	林野(a)			
たばこ					1	1
こんろ						
風呂かまど						
ストーブ	1	表3　床47		12,648	1	0
ボイラー						
煙突・煙道						
電気機器	3	表1		313	2	1
電灯・電話等の配線						
配線器具						
火遊び	1			7		1
焚き火					4	4
マッチ・ライター	1					1
灯火						
落雷	1					1
放火(疑い含む)	1	床11		521	1	0
その他	1				1	0
不明・調査中	1		1		5	△4
合計	**10**	**表4　床58**	**1**	**13,489**	**15**	**△5**

表・・・表面積　　床・・・床面積

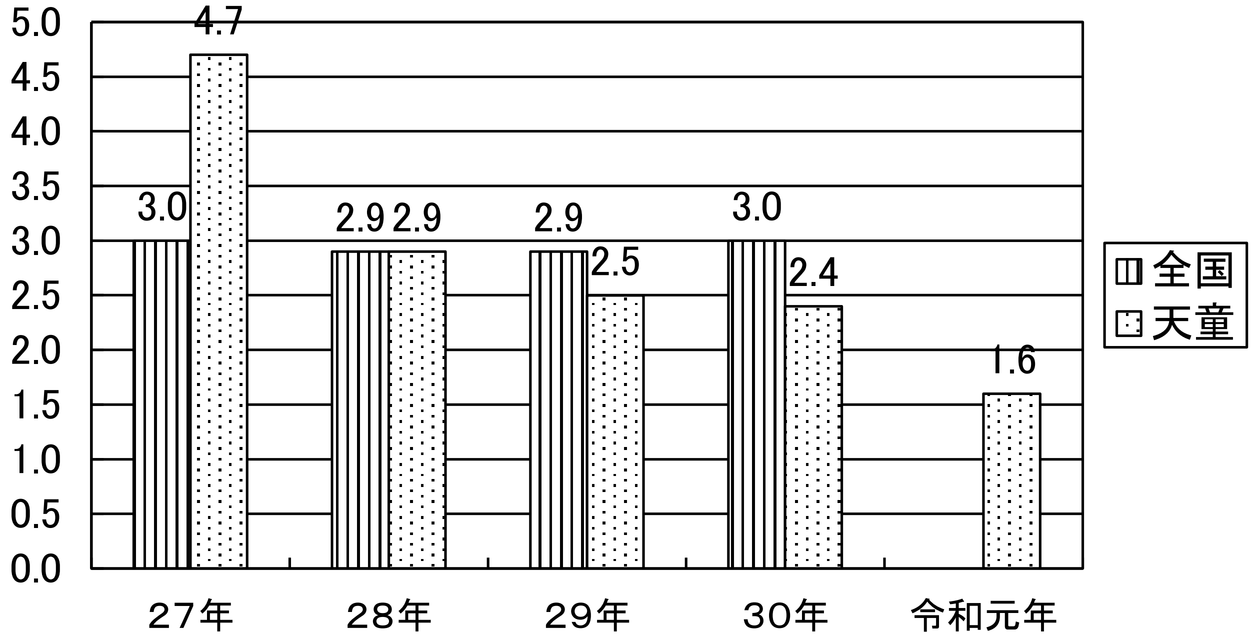
火災の覚知別件数

	合計	119番	携帯119番	一般加入電話	警察直通電話	事後聞知	その他
建物火災(件)	6	2	1			2	1
林野火災(件)	1		1				
車両火災(件)							
その他の火災(件)	3	1	1			1	
合計	**10**	**3**	**3**			**3**	**1**

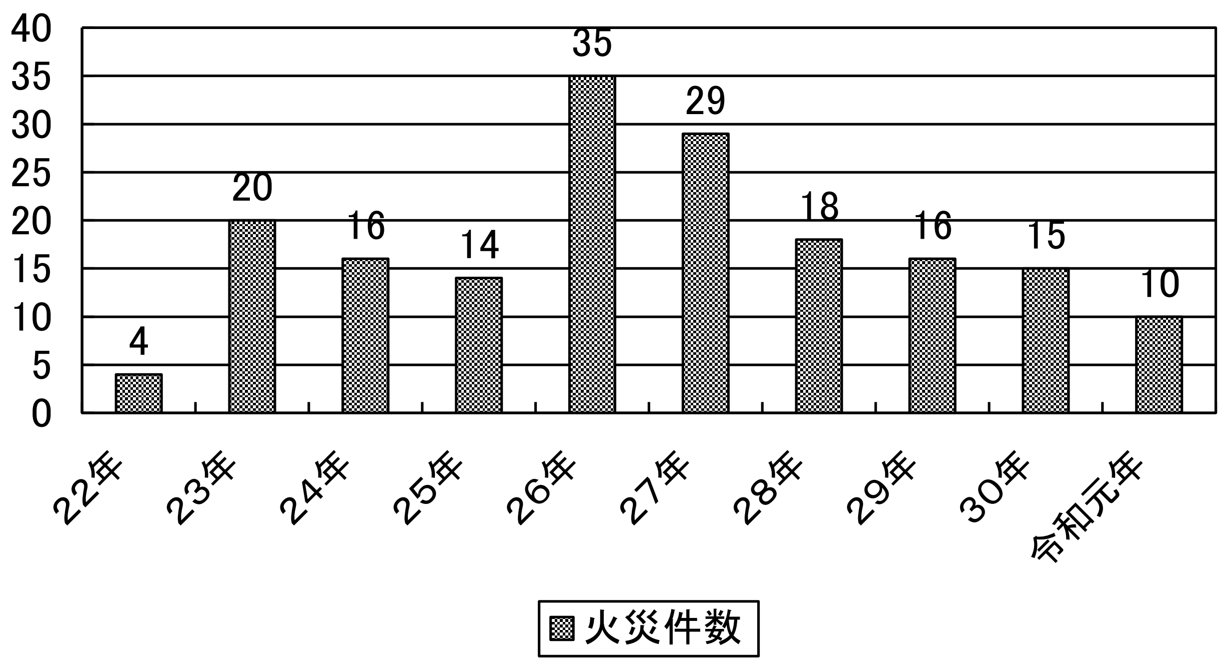
出　　火　　率

出火件数は、その都市の人口に比例するといわれており、人口１万人当たりの出火件数を出火率といいます。

過去５年間の本市と全国の出火率は、次のとおりです。



過去 10 年間の火災件数



天童市の主な火災記録

年号月日	時　刻	概　　要	損害(千円)	原　　因
明治元年		矢野目部落は庄内藩と天童城主織田藩との交戦により53戸の全焼を見る。		庄内藩士の焼き討ち
明治38年 6月2日		山口村字小原、住宅より出火し、18戸50棟を全焼した。		かまどの火の不始末
大正3年 6月8日	午後1時	天童町字田町、住宅より出火し、39戸61棟を全焼した。	不動産　16 動産　13	炉火の不始末
大正7年 4月16日	午後3時	山口村、物置小屋より出火、烈風に煽られ39戸114棟を全焼した。	42	子供の火遊び
昭和14年 11月1日	午前4時	天童久野本、機械工場より出火、同工場を全焼した。	195	電灯取扱いの不良
昭和15年 4月19日	午後2時	山口村大字川原子、住宅より出火、強風に煽られ39戸149棟、更に山林35町歩を全焼した。	178	かまどの火の不始末
昭和17年 6月10日	午前10時	田麦野村、物置小屋より出火、強風に煽られて16戸を全焼した。	74	子供の火遊び
昭和23年 5月14日	午前10時	津山村字下貫津、物置小舎より出火、13戸を全焼した。		子供の火遊び
昭和24年 4月25日	午後 2時30分	天童町久野本機械工場より出火し、機械工場、会議室、鍛冶工場等を全焼した。	20,000	刃物の焼入れ作業中、重油に着火
昭和25年 4月16日	午前 0時40分	山口村役場より出火し、101坪の同役場を全焼した。	5,000	放火
昭和27年 10月19日	午前 10時40分	天童町田町、木工場塗装室より出火し、同工場を全焼した。	23,700	タバコ火がシンナーに引火
昭和33年 5月5日	午前 2時55分	天童市大字山口、物置小屋より出火し、11棟を全焼した。	2,013	放火
昭和34年 1月1日	午前 4時05分	天童温泉・旅館、大広間より出火、同旅館を全焼した。	16,312	タバコ火の不始末
昭和35年 5月4日	午後 8時50分	天童市藤内新田、サンダル工場より出火、9棟を全焼、2棟を半焼した。	3,029	ベアリングの過熱
昭和35年 10月30日	午後 1時40分	天童市老野森、製粉工場より出火し、同工場を全焼した。	6,799	ベアリングの過熱

年号月日	時　刻	概　　　要	損害(千円)	原　　　因
昭和 41 年 5 月 13 日	午前 9 時 20 分	天童市大字山口、住宅より出火、住宅、土蔵、物置小屋等 3 棟全焼、7 棟を半焼・部分焼した。	960	囲炉裏の火の粉が火棚に飛び火
昭和 42 年 12 月 30 日	午後 11 時 20 分	天童市大字原町、工場から出火、工場、倉庫、住宅、計 1,176 ㎡を焼損した。	24,220	不明
昭和 44 年 10 月 13 日	午後 11 時 14 分	天童市大字川原子、工場から出火、工場、倉庫、物置等 509 ㎡を焼損した。	3,064	不明
昭和 45 年 8 月 26 日	午後 7 時 45 分	天童市東本町、木工製作所から出火、店舗兼倉庫 1 棟 430 ㎡を焼損した。	7,460	不明
昭和 46 年 12 月 5 日	午前 0 時 30 分	天童市大字高擶、工場から出火、工場と住居 1 棟 707 ㎡全焼、倉庫を部分焼した。	9,974	溶解炉の火が可燃物に着火
昭和 50 年 9 月 5 日	午後 5 時 55 分	天童市大字上荻野戸、チップ工場から出火、工場と住居 1 棟 296 ㎡と機械一式を焼損した。	20,638	焼却炉からの飛び火
昭和 51 年 11 月 9 日	午後 12 時 55 分	天童市大字久野本、缶詰工場から　出火、鉄骨一部木造平屋倉庫 255 ㎡を焼損した。	10,712	石油ストーブの取扱い不注意
昭和 53 年 11 月 21 日	午後 2 時 35 分	天童市大字乱川、工場から出火、工場 1 棟全焼、倉庫 1 棟半焼した。	16,332	溶接時の火花がクッション材料に着火
昭和 55 年 6 月 15 日	午後 1 時 55 分	天童市大字乱川、木工製作所から　出火、乾燥材置場、乾燥場、計 328 ㎡全焼、治具倉庫 2 棟を半焼した。	42,173	ボイラーの煙突からの火の粉が屋根に落下して着火
昭和 59 年 8 月 26 日	午後 2 時 00 分	天童市大字北目、木工製作所から　出火、工場延べ 3,296 ㎡に内 400 ㎡と家具を焼損した。	59,918	不明
昭和 60 年 3 月 24 日	午前 3 時 27 分	天童市東本町、雑居ビルから出火、貸店舗 474 ㎡の内 348 ㎡を焼損した。	31,767	漏洩したプロパンガスに製氷機の電気火花が引火
昭和 61 年 1 月 13 日	午前 3 時 45 分	天童市大字寺津、牛舎から出火、牛舎 500 ㎡全焼、乳牛 37 頭、2t ダンプ等焼損した。	20,285	不明

年号月日	時　刻	概　　　要	損害(千円)	原　　　因
昭和 62 年 11 月 10 日	午前 4 時 30 分	天童市一日町、住宅から出火、建物 11 棟(全焼 4 棟、焼 2 棟、部分焼 5 棟)を焼損した。	18,507	ストーブの上に衣類が落下
平成 2 年 5 月 30 日	午後 7 時 35 分	天童市大字寺津、住宅から出火、建物 4 棟(全焼 2 棟、部分焼 2 棟)を焼損した。	34,903	ガソリンにライターの火が引火
平成 8 年 8 月 23 日	午後 8 時 00 分	天童市大字高擶、住宅から出火、建物 4 棟(全焼 1 棟、半焼 1 棟、部分焼 2 棟)を焼損した。	17,750	不明
平成 10 年 6 月 2 日	午後 1 時 10 分	天童市大字乱川、工務店から出火、トタン張り倉庫2棟合計209 ㎡を焼損した。	32,099	ごみの焼却の不始末
平成 10 年 7 月 2 日～ 7 月 7 日	未明から 明け方	天童市中里地内と東長岡地内で連続 7 件の放火事件があり、建物 1 件、その他 (洗濯物など) 6 件の火災があった。	合計で 77	放火
平成 13 年 2 月 24 日	午前 5 時 45 分	天童市一日町、危険物製造所から出火、タンク 6 基と製造設備等、142.8 ㎡を焼損した。	11,294	植物油(ヨウソ価 130)の自然発火
平成 16 年 4 月 2 日	午前 5 時 30 分	天童市大字久野本、住宅から出火、建物(全焼 2 棟・半焼 1 棟・部分焼 2 棟・ぼや 1 棟)を焼損した。	合計で 20,765	不明
平成 16 年 4 月 13 日	午前 7 時 15 分	天童市天童中、小路喜太郎稲荷神社から出火、本殿を全焼した。	27,316	放火
平成 17 年 8 月 25 日	午後 2 時 05 分	天童市南町、県営天童南部アパート地下ピット内に漏れたＬＰガスを排出中に爆発、2 名負傷。		電気機器のショート
平成 23 年 3 月 19 日	午前 1 時 45 分	天童市大字蔵増、木工所兼住宅の木工所から出火、建物 1 棟 (571 ㎡)を全焼した。	59,307	不明
平成 24 年 7 月 23 日	午後 8 時 40 分	天童市大字荒谷、作業所兼車庫付近から出火、建物 4 棟 (全焼 3 棟・部分焼 1 棟) を焼損した。	合計で 6,419	不明

年号月日	時　刻	概　　　要	損害(千円)	原　　因
平成25年 12月4日	午後 1時40分	天童市芳賀土地区画整理事業地内､建築中のショッピングモールから出火、建物1棟（床面積1,620㎡、 表面積78.12㎡）を部分焼し、4名負傷した。	15,765	溶接作業中の溶融金属
平成27年 1月9日	午後 8時20分	天童市清池東、野菜工場から出火、 建物1棟(354.50㎡)を焼損した。	181,314	不明
平成27年 8月1日	午前 3時30分	天童市東芳賀、住宅から出火、 建物10棟(全焼2棟、部分焼7棟、ぼや1棟)を焼損した他、3名が負傷した。	56,262	不明
平成27年 12月7日	午前 1時45分	天童市大字乱川、正一位稲荷神社から出火、建物2棟(幣拝殿51.44㎡全焼、本殿8.70㎡全焼)を焼損した。	1,715	不明
平成28年 1月2日	午後 15時00分	天童市清池東、住宅から出火、建物4棟（全焼1棟、半焼1棟、部分焼2棟）を焼損した他、2名が死亡した。	695	不明
平成29年 12月30日	午前 2時55分	天童市北久野本、住宅から出火、建物4棟（全焼1棟、部分焼3棟）及び車両2台を焼損した他､1名が負傷した。	2,055	不明
平成30年 7月11日	午前 2時50分	天童市高擶、作業場から出火、建物3棟（全焼2棟、部分焼1棟）及び車両1台を焼損した。	31,776	不明

救　急　・　救　助　統　計

救急出動件数（前年との比較）

区分(年) ＼ 事故種別		合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	輸送資器材	その他
元	出動件数	**2,658**	3			143	17	22	339	7	15	1,719	391			2
	搬送人員	**2,447**	2			137	17	21	316	6	8	1,549	391			
30	出動件数	**2,618**	2			179	16	21	323	7	19	1,693	354			4
	搬送人員	**2,453**	2			186	16	21	301	7	13	1,553	354			
前年との比較	出動件数	**40**	1			-36	1	1	16		-4	26	37			-2
	搬送人員	**-6**				-49	1		15	-1	-5	-4	37			

月別・事故種別出動件数と搬送人員

月別	事故種別／区分	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
1月	出動件数	**247**				12			35	1		170	29
	搬送人員	**229**				14			34			152	29
2月	出動件数	**210**				4	1		28		1	148	28
	搬送人員	**193**				3	1		26			135	28
3月	出動件数	**215**				13		1	24		1	146	30
	搬送人員	**193**				12		1	21			130	29
4月	出動件数	**219**				11			31	1	1	136	39
	搬送人員	**201**				10			28	1	1	122	39
5月	出動件数	**225**	2			11	4	4	17		4	146	37
	搬送人員	**210**	1			11	4	4	14		2	137	37
6月	出動件数	**242**				21	2	2	28	1	1	154	33
	搬送人員	**226**				22	2	2	27	1		140	32
7月	出動件数	**196**				13	3	6	23		1	118	32
	搬送人員	**180**				12	3	6	22			105	32
8月	出動件数	**251**				16	3	1	36	1	3	152	39
	搬送人員	**238**				16	3		33	1	3	143	39
9月	出動件数	**203**				6		6	31		1	134	25
	搬送人員	**188**				8		6	31			118	25
10月	出動件数	**209**				10		2	37			123	37
	搬送人員	**192**				9		2	35			109	37
11月	出動件数	**210**	1			11	4		32	1	1	134	26
	搬送人員	**192**	1			10	4		31	1	1	118	26
12月	出動件数	**231**				15			17	2	1	158	38
	搬送人員	**205**				10			14	2	1	140	38
合計	**出動件数**	**2,658**	**3**			**143**	**17**	**22**	**339**	**7**	**15**	**1,719**	**393**
	搬送人員	**2,447**	**2**			**137**	**17**	**21**	**316**	**6**	**8**	**1,549**	**391**
前年	出動件数	**2,618**	2			179	16	21	323	7	19	1,693	358
	搬送人員	**2,453**	2			186	16	21	301	7	13	1,553	354
増減	出動件数	**40**	1			−36	1	1	16		−4	26	35
	搬送人員	**−6**				−49	1		15	−1	−5	−4	37

救急隊員の行った応急処置

応急処置＼事故種別		合　計	急　病	交通事故	一般負傷	その他
搬送人員		2,447	1,549	137	316	445
処置対象人員		2,414	1,525	134	313	442
止血		80	18	8	48	6
固定		91	5	43	33	10
人工呼吸		1	1			
胸骨圧迫		2	1	1		
心肺蘇生		69	57		7	5
酸素吸入		456	323	10	26	97
気道確保		69	63	2	3	1
	※１	2	2			
	※２	4	3			1
	※３	1				1
	※４					
保温		65	43	3	8	11
被覆		116	16	27	66	7
在宅医療法継続		26	24			2
	※Ａ					
	※Ｂ	1	1			
	※Ｃ	25	23			2
ショックパンツ						
除細動		8	6		1	1
静脈確保		32	28		3	1
	心肺機能停止後	15	13		1	1
	心肺機能停止前	17	16		1	
薬剤投与		11	9		1	1
エピペン投与						
ブドウ糖溶液投与		6	6			
血糖値測定		85	78		3	4
その他の応急処置		51	38		7	6
血圧測定		2,290	1,441	131	296	422
聴診器による聴取		342	259	11	27	45
血中酸素飽和度測定		2,340	1,466	133	304	437
心電図		1,158	898	22	54	184
合計		7,298	4,780	391	887	1,240

注１　その他とは、火災・自然災害・水難事故・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他（転院）をいう。
注２（※１）経鼻エアウェイによる気道確保
（※２）喉頭鏡・マギール鉗子等を使用した異物除去
（※３）ラリンゲアルマスク等を使用した気道確保
（※４）気管挿管処置
（※Ａ）在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法による点滴処置者への応急処置
（※Ｂ）気管切開孔・気管瘻・人工肛門等の外瘻処置者への応急処置
（※Ｃ）※Ａ・※Ｂ以外の処置者への応急処置
注３　応急処置は、傷病者に対して複数の処置を行う場合もあるため、処置人数の合計とは一致しない。

医療機関別搬送人員

上段：医療機関搬送人員
下段：管外医療機関搬送人員

告示別等の医療機関＼事故種別		合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
救急告示	国立	94 94	52 52	3 3	8 8	31 31
	公立	1,441 1,051	991 656	53 47	129 90	268 258
	公的	240 240	134 134	11 11	35 35	60 60
	私的病院	601 86	312 47	69 5	141 10	79 24
	私的診療所					
	小計	2,376 1,471	1,489 889	136 66	313 143	438 373
非告示	国立	11 11	9 9			2 2
	公立	1 1	1 1			
	公的					
	私的病院	36 16	33 15			3 1
	私的診療所	23 10	17 6	1 1	3 2	2 1
	小計	71 38	60 31	1 1	3 2	7 4
その他の場所						
合計		2,447 1,509	1,549 920	137 67	316 145	445 377

時　間　別　出　動　状　況

事故種別 ＼ 時間別	**出動件数**	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
0 ～ 2	**99**				4			12		1	79	3
2 ～ 4	**62**							6	3		51	2
4 ～ 6	**97**	2			1	1		3			84	6
6 ～ 8	**159**				15			22	1	1	114	6
8 ～10	**349**				18	1	1	58	1	2	218	50
10～12	**335**				16	4	3	42		2	196	72
12～14	**337**				15	7	8	48		2	178	79
14～16	**307**				14	1	4	38		1	196	53
16～18	**319**				25	1	4	38		3	181	67
18～20	**242**	1			20	1	2	26	1	1	161	29
20～22	**212**				10	1		31	1	1	148	20
22～24	**140**				5			15		1	113	6
合　計	**2,658**	**3**			**143**	**17**	**22**	**339**	**7**	**15**	**1,719**	**393**

年齢別・性別・事故種別搬送人員

事故種別 ＼ 性別・年齢別		**搬送人員**	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	男	**1,379**	1			73	14	18	141	2	5	919	206
	女	**1,068**	1			64	3	3	175	4	3	630	185
新生児		**10**							1			1	8
乳幼児		**124**				8			32			75	9
少　年		**65**				9		14	9			31	2
成　人		**702**	2			90	13	6	51	3	5	436	96
高齢者		**1,546**				30	4	1	223	3	3	1,006	276
合　計		**2,447**	**2**			**137**	**17**	**21**	**316**	**6**	**8**	**1,549**	**391**

新生児　　生後 28 日未満の者

乳幼児　　生後 28 日以上　～　満 7 歳未満の者

少　年　　満 7 歳以上　　～　満 18 歳未満の者

成　人　　満 18 歳以上　　～　満 65 歳未満の者

高齢者　　満 65 歳以上の者

事故種別・傷病程度別搬送人員

事故種別 ＼ 傷病程度別	**搬送人員**	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死亡	**82**				1	1		5		3	70	2
重症	**499**	1			13	3		68	1	2	302	109
中等症	**936**	1			22	6	10	84	1	2	568	242
軽症	**930**				101	7	11	159	4	1	609	38
その他												
合計	**2,447**	**2**			**137**	**17**	**21**	**316**	**6**	**8**	**1,549**	**391**

傷病者の程度は、初診時における医師の診断に基づき、次の５種類に分類する。
（1）「死亡」とは、初診時において死亡が確認されたもの。
（2）「重症」とは、傷病の程度が３週間以上の入院加療を必要とするもの。
（3）「中等症」とは、傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
（4）「軽症」とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
（5）「その他」とは、医師の診断のないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの。

曜日別出動件数・搬送人員

事故種別 ＼ 曜日別	**合計**	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
日	**348**				22	2	7	48		1	239	29
	327				33	2	7	45			212	28
月	**403**	2			20		2	46	2	2	272	57
	370	1			18		2	43	2	1	246	57
火	**363**				17	3		51	1		214	77
	348				15	3		51			202	77
水	**404**				24	5	1	55	4	2	247	66
	373				22	5	1	50	4	2	223	66
木	**378**	1			25	3		48		1	239	61
	351	1			25	3		45			216	61
金	**372**				18	3	4	36		3	245	63
	344				17	3	3	32		1	226	62
土	**390**				17	1	8	55		6	263	40
	345				18	1	8	50		4	224	40
合計	**2,658**	**3**			**143**	**17**	**22**	**339**	**7**	**15**	**1,719**	**393**
	2,447	**2**			**137**	**17**	**21**	**316**	**6**	**8**	**1,549**	**391**

上段　出動件数
下段　搬送人員

月 別 出 動 件 数

件数／月別	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件	11件	12件	13件	14件	15件	16件	17件	18件	19件	月件数	2隊同時出動	3隊同時出動	4隊同時出動
1			1	5	4	3	3	2	6	3	3			1						247	74	17	2
2	1	1	1	3	4	2	5	3	2	2	2	2								210	54	21	4
3			3	6	6	3	3	4	4		1	1								215	62	7	4
4	1		3	1	6	4	5	2	4		2	2								219	54	13	2
5		1	4	3	4	3	5	3	2	3	1		1		1					225	65	7	2
6	1	1		1	3	2	8	8	1	1	2	1							1	242	59	17	2
7		6	2	3	2	4	6	5	1			1	1							196	47	10	3
8		3	2	1	2	3	4	7	2	2		1	1	1	1		1			251	69	16	6
9		3	2	3	2	6	4	4	2	4										203	48	5	
10	1	2	2	3	7	2	3	5	4	1			1							209	42	15	2
11	2			5	6	3	5	3	3	2		1								210	50	8	
12		1	3	1	1	8	8	4	3	1		1								231	58	6	
合計	6	18	23	35	47	43	59	50	34	19	11	10	4	2	2		1		1	2,658	682	142	27

発生場所別・事故種別搬送人員

発生場所／事故種別	搬送人員	住　宅	公衆出入場　所	仕事場	道　路	その他
急　　病	**1,549**	1,035	426	54	21	13
交通事故	**137**		4		133	
一般負傷	**316**	197	91	2	12	14
そ の 他	**445**	16	413	12	1	3
合　　計	**2,447**	**1,248**	**934**	**68**	**167**	**30**

(注) 1　発生場所とは、事故等の発生した場所又は傷病者のいた場所をいう。
2　「住宅」とは、一般住宅及び高層住宅等で住居としている場所をいう。
3　「公衆出入場所」とは、百貨店、映画館、旅館、学校、駅構内等の人の集まる場所をいう。
4　「仕事場」とは、事務所、工場、作業所、各種事務所等の仕事をしている場所をいう。
5　「道路」とは、一般道、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋をいう。
6　「その他」とは、上記以外の場所で、公園、広場、空地、農地等をいう。
なお、発生場所が不明なものも含む。

覚知から収容までの時間

所要時間／事故種別	搬送人員		覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間別人員												収容平均時間
			10分未満		10分以上20分未満		20分以上30分未満		30分以上60分未満		60分以上120分未満		120分以上		
		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外	
急　病	1,549	920			6		322	66	1,067	724	150	129	4	1	41分06秒
交通事故	137	67			4		26	3	95	52	12	12			39分36秒
一般負傷	316	145			4		66	6	218	117	28	22			40分12秒
その他	445	377			16	1	194	160	228	210	6	5	1	1	31分36秒
合　計	**2,447**	**1,509**			**30**	**1**	**608**	**235**	**1,608**	**1,103**	**196**	**168**	**5**	**2**	**39分12秒**

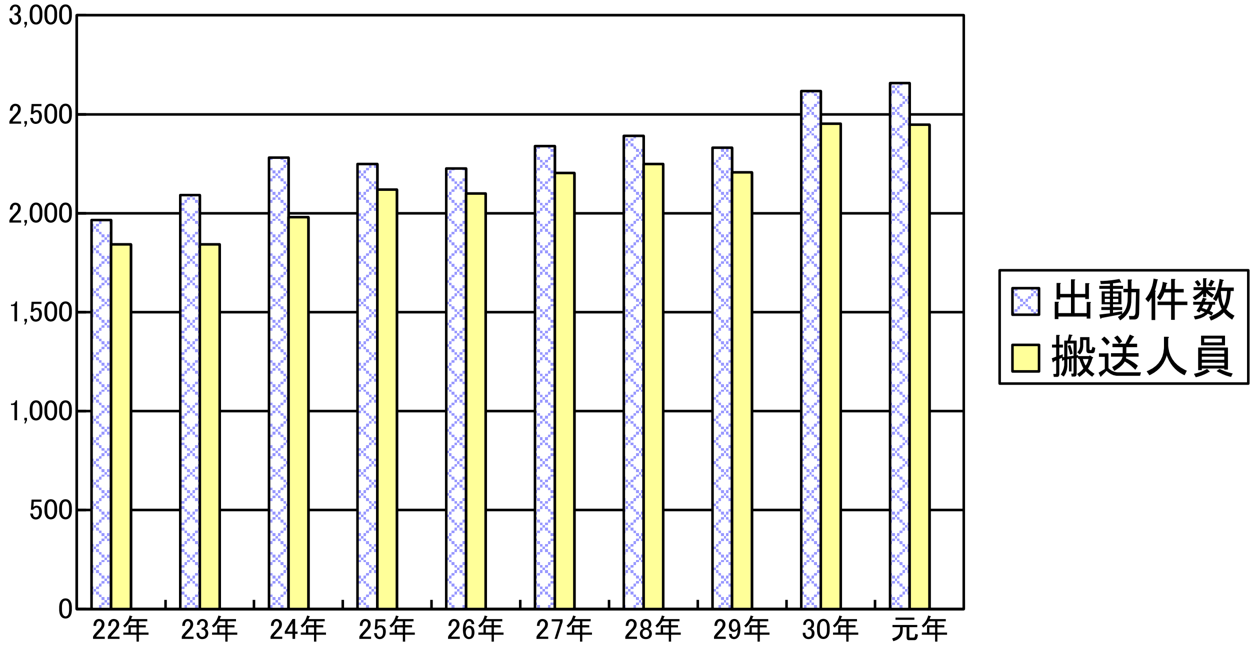
覚知から現場到着所要時間別出動件数

所要時間／事故種別	出動件数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着平均所要時間
急　　病	1,719	10	164	1,256	285	4	7分23秒
交通事故	143	3	10	94	33	3	7分59秒
一般負傷	339	1	31	252	54	1	7分20秒
そ の 他	457	15	186	240	16		5分21秒
合　　計	**2,658**	**29**	**391**	**1,842**	**388**	**8**	**7分01秒**

覚　知　状　況

覚知種別／件数・比率	合　計	１１９番	携帯119番	一般加入電話	警察直通電話	駆　付	その他
出 動 件 数	2,658	1,491	929	140	77	14	7
比 率（％）	100.0	56.0	35.0	5.3	2.9	0.5	0.3

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移



年 / 件数 人員	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
出動件数	1,965	2,092	2,281	2,249	2,226	2,339	2,391	2,331	2,618	2,658
搬送人員	1,843	1,981	2,140	2,120	2,100	2,204	2,248	2,207	2,453	2,447

応急手当普及啓発活動状況

対象 / 区分	合計		教育機関		事業所等		防災組織		一般市民等		消防団		福祉・乳幼児施設	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
普通救命講習	18	308	1	21	14	230			2	42			1	15
※	1	6			1	6								
一般応急手当講習	105	2,942	20	631	32	1,014	16	693					37	604
※	18	395			5	142	1	18					12	235
応急手当普及員講習	2	14							1	10	1	4		
合計	125	3,264	21	652	46	1,244	16	693	3	52	1	4	38	619
※	19	401			6	148	1	18					12	235
指導者数	208		45		46		17		43		6		51	

※応急手当普及員が指導を行った回数及び受講人数

救 助 出 動 の 状 況

月別	出動件数	事故種別									出動人員	出動台数
		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他		
1	3		2				1				34	11
2	1									1	8	3
3	2	1	1								30	8
4	2	1	1								25	7
5	5	3	1							1	73	21
6	4	1	2							1	53	16
7	2		1							1	21	6
8	3		1				1			1	36	11
9	4		2							2	26	8
10												
11	5	1	2				1			1	72	20
12	6		3				1			2	67	18
合計	**37**	**7**	**16**				**4**			**10**	**445**	**129**

事故種別救助活動件数及び救助人員

事故種別	救助活動件数	救助人員
火災	1	1
交通事故	3	3
水難事故		
風水害等自然災害事故		
機械による事故		
建物等による事故	2	2
ガス及び酸欠事故		
破裂事故		
その他	3	3
合計	**9**	**9**

消　　　　防　　　　团

消 防 団 の 沿 革

昭和14年	4月	勅令により消防組から警防団と改称
昭和23年	3月	政令をもって新たに公布され現在の組織となる。
	7月	消防法が公布
昭和29年	10月	町村合併促進法により、1町6か村(天童町、成生村、蔵増村、寺津村、津山村、山口村、田麦野村が合併し新天童町消防団が誕生 7分団38部、団員1,103名、消防ポンプ自動車6台、三輪ポンプ自動車2台、手引き動力ポンプ29台、可搬動力ポンプ5台
昭和33年	10月	市制施行、県下10番目
昭和35年	4月	成生地区に消防ポンプ自動車(ＢＳ－Ｉ型、トヨタ)を配置
昭和36年	3月	寺津地区に消防ポンプ自動車(ＢＳ－Ｉ型、日産)を配置
昭和37年	10月	豊栄村が編入合併し、消防団の再編成を実施 10分団58部、団員数1,427人、消防ポンプ自動車12台、三輪ポンプ自動車1台、手引き動力ポンプ34台、可搬動力ポンプ13台
昭和38年	2月	消防本部、消防団、日本消防協会から竿頭綬を授与
	3月	干布地区(上荻野戸)に消防ポンプ自動車(ＢＳ－Ｉ型、日産)を配置
昭和39年	1月	高擶地区(堀端)に消防ポンプ自動車(ＢＳ－Ｉ型、日産)、天童地区(久野本)に(ＢＳ－Ｉ型、トヨタ)を配置
	3月	消防本部、消防団、山形県知事から表彰旗を授与
昭和40年	5月	消防団の再編成を実施、18分団59部74班、団員数1,335人 消防ポンプ自動車16台、手引き動力ポンプ30台、可搬動力ポンプ23台
昭和47年	11月	団連絡車(三菱ウイルスワゴンジープ)を配置
昭和48年	4月	分団組織を18分団から10分団に再編成し、人命救助隊を新たに編成
昭和49年	4月	消防タンク車設置協会からタンク車(10t水槽車、三菱)の寄贈を受ける。
昭和53年	6月	天童市労務対策協議会からマイクロバスの寄贈を受け(救助車)を配置
昭和56年	10月	高擶地区(中里)に小型動力ポンプを配置し、第8分団第8部を組織する。
昭和57年	10月	第8回全国消防操法大会に第5分団第3部(温泉地区)が自動車ポンプ操法の部に出場
昭和59年	3月	消防本部、消防団、消防庁長官から表彰旗を授受
昭和62年	10月	天童地区(北久野本)に小型動力ポンプを配置し、第1分団第6部第3班を組織する。
昭和63年	9月	日本消防協会から小型動力ポンプ積載車(トヨタ)が寄贈され、荒谷地区(荒谷原)に配置
平成 元年	4月	消防本部の救助工作車更新に伴い、旧車を蔵増地区(矢野目)に小型動力ポンプ積載車として整備し配置
平成 3 年	11月	団員の出動に備え、搬送車(公共応急作業車、マイクロバス、三菱)を配置
平成 5 年	5月	平成5年度東北地区水防訓練(中山町最上川)に第3分団、第4分団が出場
	11月	自治体消防発足45周年記念式典に団長以下16名参加
平成 7 年	8月	災害に備え災害支援車(守る震災号、三菱)を配置
平成 8 年	12月	高擶地区(堀端)に小型動力ポンプ積載車(日産)を配置
平成 9 年	7月	消防団指揮車(日産、テラノ)を配置

平成 9 年 12 月　山口地区(乱川)に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
平成 10 年 10 月　成生地区(大清水)に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
平成 11 年 11 月　高擶地区(長岡)に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
平成 13 年　4 月　田麦野地区の第 2 部と第 3 部を統合し第 2 部に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
　　　　　12 月　干布地区(原町)に小型動力ポンプ積載車(日産)を配置
平成 14 年　4 月　山口地区の第 7 分団第 2 部(渡戸)が廃部になる。
　　　　　12 月　寺津地区(藤内新田)に小型動力ポンプ積載車を配置
平成 15 年　2 月　高擶地区(東芳賀)に第 8 分団第 9 部が新設され、小型動力ポンプを配置
　　　　　12 月　山口地区(川原子)に小型動力ポンプ積載車(三菱)を配置
平成 17 年 12 月　天童地区(一日町)、高擶地区(東芳賀)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 19 年　3 月　成生地区(高木)、津山地区(立宿)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
干布地区(片羽)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 20 年 11 月　天童地区(北目)、山口地区(上山口)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 21 年 10 月　蔵増地区(窪野目)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 22 年 10 月　津山地区(上貫津)、高擶地区(芳賀)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 23 年 12 月　山口地区(道満)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 24 年　3 月　消防審議会の答申を受け、平成 28 年度までの 5 か年計画により天童市消防団再編計画を策定
　　　　　11 月　干布地区(石倉)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 25 年　4 月　天童市消防団再編計画に基づき、蔵増地区(第 3 分団)が 8 部 8 班体制、干布地区(第 9 分団)が 6 部 8 班体制となる。
　　　　　10 月　天童市消防団が組織されて以来、初となる女性消防隊を発足(隊長以下 4 名)
　　　　　11 月　消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会(東京ドーム)に団長以下 27 名参加
平成 26 年　3 月　成生地区(小関)、蔵増地区(塚野目)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
　　　　　　4 月　天童市消防団再編計画に基づき、寺津地区(第 4 分団)が 2 部 4 班体制となる。
平成 27 年　4 月　天童市消防団再編計画に基づき、成生地区(第 2 分団)が 8 部 8 班体制、田麦野地区(第 6 分団)が 1 部 2 班体制、干布地区(第 9 分団)が 6 部 7 班体制となる。
平成 28 年　4 月　天童市消防団再編計画に基づき、山口地区(第 7 分団)が 11 部 14 班体制となる。
平成 29 年　4 月　天童市消防団再編計画に基づき、成生地区(第 2 分団)が 7 部 8 班体制、山口地区(第 7 分団)が 11 部 12 班体制、干布地区(第 9 分団)が 6 部 6 班体制となり、高擶地区の第 8 分団第 8 部と第 9 部を新設する第 11 分団(長岡地区)2 部 2 班体制に、高擶地区(第 8 分団)は 3 部 7 班体制になる。
平成 30 年　3 月　山口地区(原崎)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
　　　　　　4 月　天童市消防団再編計画に基づき、天童中部地区(第 1 分団)が 4 部 4 班体制、山口地区(第 7 分団)が 10 部 11 班体制となり、天童南部地区(第 12 分団)4 部 4 班体制、天童北部地区(第 13 分団)2 部 3 班体制を新設する。
　　　　　11 月　長岡地区（中里）に消防ポンプ自動車を配置
令和 2 年　3 月　山口地区(小原)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置

歴 代 消 防 団 長

（昭和 29 年 10 月　町村合併以降）

代	氏　　名	期　　　間
初　　代	鈴　木　清　吉	昭和２９年１０月～昭和４４年　３月
２　　代	安　喰　幸一郎	昭和４４年　４月～平成１１年　３月
３　　代	赤　塚　二　男	平成１１年　４月～平成１８年　４月
４　　代	新　関　謙　司	平成１８年　５月～平成２７年　３月
５　　代	武　田　正　悦	平成２７年　４月～　現　　在

歴 代 消 防 副 団 長

（昭和２９年１０月　町村合併以降）

	氏　　名	期　　　間
町 村 合 併	新　関　吉　雄	昭和２９年１０月～昭和３２年　８月
	近　野　忠　市	昭和２９年１０月～昭和３６年１０月
豊栄村合併	奥　山　　　保	昭和３７年１０月～昭和３９年　５月
	安　喰　幸一郎	昭和３７年１０月～昭和４４年　３月
	菱　沼　盛　男	昭和４４年　４月～昭和４５年　３月
	野　口　直　吉	昭和３６年６月１４日～昭和４４年３月３１日 昭和４５年４月　１日～平成１１年３月３１日
	赤　塚　二　男	昭和５２年４月　１日～平成１１年３月３１日
	垂　石　祐　孝	平成１１年４月　１日～平成１７年７月３１日
	新　関　謙　司	平成１１年４月　１日～平成１８年４月３０日
	林　　　克　巳	平成１７年１０月１日～平成２３年５月２０日
	武　田　正　悦	平成１８年７月　１日～平成２７年３月３１日
	山　口　　　孝	平成２７年４月　１日～平成２９年３月３１日
	赤　塚　雄　二	平成２４年４月　１日～　現　　在
	滝　口　雅　一	平成２９年４月　１日～　現　　在

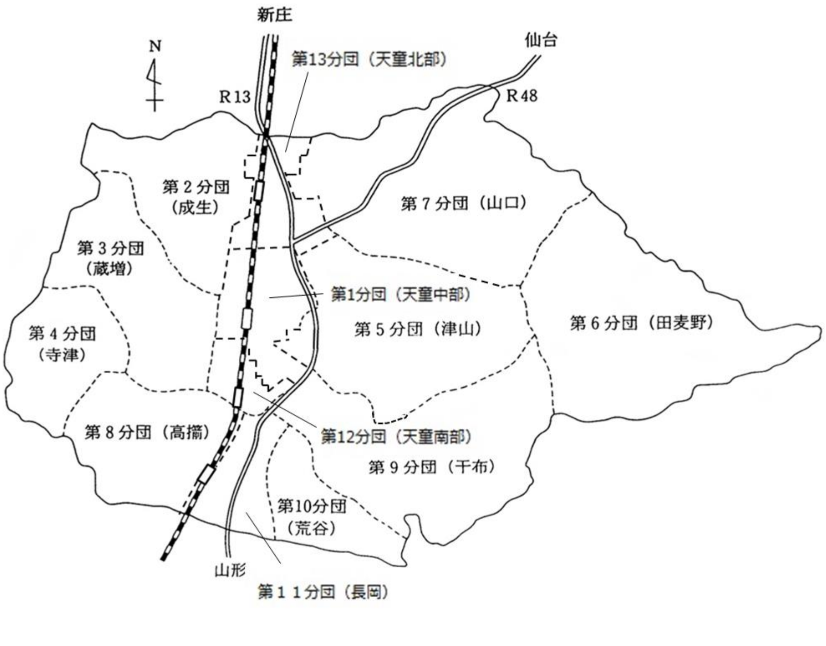
消 防 団 の 組 織 図

市長 ― 団長 1名 ― 副団長 2名 ― 本部員 6名

分団	地区	部・班・人数
第１分団	天童中部地区	4部　4班 57名
第２分団	成生地区	7部　8班 129名
第３分団	蔵増地区	8部　8班 136名
第４分団	寺津地区	2部　4班 60名
第５分団	津山地区	5部　7班 62名
第６分団	田麦野地区	1部　2班 27名
第７分団	山口地区	10部 11班 171名
第８分団	高擶地区	3部　7班 88名
第９分団	干布地区	6部　6班 97名
第１０分団	荒谷地区	3部　3班 51名
第１１分団	長岡地区	2部　2班 49名
第１２分団	天童南部地区	4部　5班 52名
第１３分団	天童北部地区	2部　3班 41名
		女性消防隊　7名
13分団	13地区	58部 71班

定員1,063名
実員1,036名

消 防 分 団 管 轄 図



年齢及び階級別消防団員数

（人）

階級／年齢	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
18 歳	0							
19 〃	0							
20 〃	1							1
21 〃	7							7
22 〃	10							10
23 〃	13							13
24 〃	19							19
25 〃	20							20
26 〃	16							16
27 〃	28							28
28 〃	20							20
29 〃	20							20
30 〃	30						1	29
31 〃	35					2	3	30
32 〃	46					2	4	40
33 〃	51					2	2	47
34 〃	51					4	3	44
35 〃	69					6	5	58
36 〃	71				2	6	7	56
37 〃	53				1	3	6	43
38 〃	65				1	6	9	49
39 〃	46			1	1	3	4	37
40 〃	55				2	2	6	45
41 〃	61			1		7	4	49
42 〃	55			2		4	6	43
43 〃	45			1			4	40
44 〃	18			2	1	1	2	12
45 〃	21					1	2	18
46 〃	26			3	1	1		21
47 〃	13			2			2	9
48 〃	13				1	2	1	9
49 〃	14		1	1	1	1		10
50～54〃	25	1		4	1	4		15
55～59〃	13		1	2	1			9
60 歳以上	6					1		5
合計	1,036	1	2	19	13	58	71	872

消　防　団　員　の　報　酬　等

（円）

報酬年額（一人当りの額）						
団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
116,000	82,500	53,000	38,000	31,000	22,500	16,500

出動手当等（一人当たり）			機関手当（一台当たり）	
訓練等手当	救助隊員	ラッパ隊員	自動車	小型動力
1,036 人	181 人	13 人	44 台(29 台)	25 台
5,500	2,000	5,000	10,000	5,000

（　）は小型ポンプ積載車

在 職 年 数 別 消 防 団 員 数

（人）

区　分	合　計	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上
消防団員	**1,036**	225	226	251	204	93	21	16

消防団員の退職・新任状況

（人）

退職団員数 2.3.31	在職年数						
	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上
57	6	8	11	20	8	2	2

新任団員数 2.4.1	入団年齢						
	21 歳未満	21 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 35 歳	36 歳～ 40 歳	41 歳～ 45 歳	46 歳以上
44	0	21	6	10	4	1	2

消防団機械器具の現有状況

第１分団（天童中部地区）　　令和２年４月１日現在

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備　　考
1－1 久野本	消防ポンプ 自動車	S62 年２月 三菱ふそう	CD-Ⅰ型 A－2 級	33 年	太平興業㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
1－2 老野森	消防ポンプ 自動車	H9 年１月 三菱ふそう	CD-Ⅰ型 A－2 級	23 年	太平興業㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
1－3 本町	小型動力 ポンプ	H21 年 10 月 ラビット・P456	B－3 級 38kW	10 年	㈱マキタ沼津 日本防災工業㈱山形営業所	地域活性化事業
1－4 小路	小型動力 ポンプ	H18 年 12 月 トーハツ・VC42A(S)	B－3 級 30kW	13 年	トーハツ㈱ ㈱一辰商会	一般単独事業
合　計	消防ポンプ自動車　２台		小型動力ポンプ付積載車　０台		小型動力ポンプ　２台	

第２分団（成生地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備　　考
2－1 小関	小型動力ポンプ付積載車	H21 年９月ラビット H26 年３月ダイハツ軽	B－3 級 38kW	10 年 6 年	㈱マキタ沼津 ㈱長谷川ポンプ製作所	地域活性化事業 道路局所管補助事業
2－2 高木	小型動力ポンプ付積載車	S62 年７月ﾄｰﾊﾂ V38C H19 年３月スバル軽	B－3 級 33PS	32 年 13 年	トーハツ㈱ 日本防災工業㈱山形営業所	防災まちづくり事業 一般単独事業
2－3 成生（西）	小型動力 ポンプ	H2 年 11 月 トーハツ・V38C	B－3 級 33PS	29 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
2－4 大清水	小型動力ポンプ付積載車	H21 年９月トーハツ H10 年 10 月ﾄﾖﾀﾀﾞｲﾅ	B－3 級 34kW	10 年 21 年	トーハツ㈱ 小林産業	地域活性化事業 一般単独事業
2－5－1 大町	小型動力 ポンプ	H14 年１月 トーハツ・VC72AS	B－2 級 62PS	18 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
2－5－2 今町	小型動力 ポンプ	S60 年３月 トーハツ・V38B	B－3 級 33PS	35 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	大震火災補助事業
2－7 成生（東）	消防ポンプ 自動車	H12 年３月 トヨタ	CD-Ⅰ型 A－2 級	20 年	山形トヨタ㈱ 今川ポンプ㈱	一般単独事業
2－8 向原	小型動力 ポンプ	H9 年１月 トーハツ・V40A	B－3 級 37PS	23 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
合　計	消防ポンプ自動車　１台		小型動力ポンプ付積載車　３台		小型動力ポンプ　４台	

第３分団（蔵増地区）

区分 / 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経過年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
3－1 塚野目	小型動力ポンプ付積載車	H9 年 1 月トーハツ H26 年 3 月ダイハツ軽	B－3 級 37PS	23 年 6 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業 道路局所管補助事業
3－2 矢野目	小型動力ポンプ付積載車	H21 年 10 月ラビット H17 年 12 月トヨタ	B－3 級 38kW	10 年 14 年	㈱マキタ沼津 ㈱長谷川ポンプ製作所	地域活性化事業 一般単独事業
3－3 小矢野目	小型動力ポンプ	H20 年 11 月 シバウラ・SF651Z	B－3 級 34kW	11 年	石川島芝浦機械㈱ 近藤防災㈱	一般単独事業
3－4 南区	消防ポンプ自動車	H30 年 11 月 いすゞ	CD-Ⅰ型 A－2 級	2 年	㈱モリタ ㈱長谷川ポンプ	国庫補助事業
3－5 中区	小型動力ポンプ	S58 年 9 月 トーハツ・V38B	B－3 級 33PS	36 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	大震火災補助事業
3－6 北区	小型動力ポンプ付積載車	H26 年 3 月トーハツ H8 年 12 月日産	B－3 級 30kW	6 年 23 年	トーハツ㈱ 小林産業	一般単独事業 一般単独事業
3－7 高野辺	小型動力ポンプ	S59 年 7 月 トーハツ・V38B	B－3 級 33PS	35 年	トーハツ㈱ ㈱一辰商会	大震火災補助事業
3－8 窪野目	小型動力ポンプ付積載車	S60 年 3 月トーハツ H21 年 10 月三菱軽	B－3 級 33PS	35 年 10 年	トーハツ㈱ 近藤防災㈱	大震火災補助事業 地域活性化事業
合計	消防ポンプ自動車 1 台		小型動力ポンプ付積載車 4 台		小型動力ポンプ 3 台	

第４分団（寺津地区）

区分 / 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経過年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
4－1－1 寺津（東）	消防ポンプ自動車	H21 年 11 月 日野自動車	CD-Ⅰ型 A－2 級	10 年	㈱モリタ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
4－1－2 寺津（西）	小型動力ポンプ	H2 年 11 月 トーハツ・V38C	B－3 級 33PS	29 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	国庫補助事業
4－2－1 藤内新田（北）	小型動力ポンプ付積載車	S59 年 7 月ﾄｰﾊﾂ・V38B H14 年 12 月日産	B－3 級 33PS	35 年 17 年	㈱一辰商会 山形日産天童	一般単独事業
4－2－2 藤内新田（南）	小型動力ポンプ	H19 年 8 月 ラビット・P455DAN	B－3 級 34kW	12 年	富士ロビン㈱ 日本防災工業㈱山形営業所	一般単独事業
合計	消防ポンプ自動車 1 台		小型動力ポンプ付積載車 1 台		小型動力ポンプ 2 台	

第５分団（津山地区）

区分 / 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経過年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
5－1－1 立宿	小型動力ポンプ付積載車	H21 年 9 月 トーハツ・VC42AS	B－3 級 34kW	10 年 12 年	トーハツ㈱ 日本防災工業㈱山形営業所	地域活性化事業 一般単独事業
5－1－2 若松	小型動力ポンプ	H26 年 3 月 ﾄｰﾊﾂ・VC42AS	B－3 級 30kW	6 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
5－2 下貫津	小型動力ポンプ付積載車	H19 年 8 月ﾗﾋﾞｯﾄ P445 H14 年 12 月ﾆｯｻﾝｱﾄﾗｽ	B－3 級 34kW	12 年 17 年	日本防災㈱ 山形日産天童	一般単独事業
5－3－1 温泉	消防ポンプ自動車	H27 年 3 月 トヨタダイナ	CD-Ⅰ型 A－2 級	5 年	㈱モリタ ㈱長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
5－3－2 関の上	小型動力ポンプ	H17 年 12 月 トーハツ・VC42A	B－3 級 34kW	14 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
5－4 上貫津	小型動力ポンプ付積載車	H7 年 12 月ﾗﾋﾞｯﾄ P450 H22 年 10 月ダイハツ軽	B－3 級 36PS	24 年 9 年	富士ロビン㈱ ㈱一辰商会	国庫補助事業 道路局所管補助事業
合計	消防ポンプ自動車 1 台		小型動力ポンプ付積載車 3 台		小型動力ポンプ 2 台	

第６分団（田麦野地区）

区分／所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備　　考
6－1－1 田麦野（日陰）	小型動力ポンプ付積載車	H9 年 1 月トーハツ H6 年 3 月日産	B－3 級 37PS	23 年 26 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業 国庫補助事業
6－1－2 田麦野（日向）	小型動力ポンプ付積載車	H2 年 11 月ﾄｰﾊﾂ•V38C H12 年 11 月ﾄﾖﾀ	B－3 級 33PS	29 年 19 年	トーハツ㈱ 今川ポンプ㈱	一般単独事業
合　計	消防ポンプ自動車　0 台		小型動力ポンプ付積載車　2 台		小型動力ポンプ　0 台	

第７分団（山口地区）

区分／所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備　　考
7－1 上山口	小型動力ポンプ付積載車	H18 年 12 月トーハツ H20 年 10 月ダイハツ軽	B－3 級 34kW	13 年 11 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
7－3 中山口	小型動力ポンプ	S60 年 9 月 トーハツ・V38B	B－3 級 33PS	34 年	トーハツ㈱ ㈱一辰商会	国庫補助事業
7－4 下山口（南）	消防ポンプ自動車	H13 年 3 月 日産ディーゼル	CD-Ⅰ型 A－2 級	19 年	東北日産ディーゼル㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
7－5 下山口（北）	消防ポンプ自動車	H6 年 9 月 三菱キャンター	CD-Ⅰ型 A－2 級	25 年	太平興業㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
7－6 二子沢	小型動力ポンプ	S61 年 10 月 ラビット・P407R	B－3 級 34PS	33 年	富士ロビン㈱ 今川ポンプ㈱	防災まちづくり事業
7－7 原崎	小型動力ポンプ付積載車	H30 年 3 月シバウラ H30 年 3 月スズキ軽	B－3 級 32kW	3 年	㈱シバウラ防災製作所 近藤防災㈱	緊急防災・減災事業
7－8 川原子	小型動力ポンプ付積載車	H2 年 11 月ﾄｰﾊﾂ V38C H15 年 12 月三菱軽	B－3 級 33PS	29 年 16 年	トーハツ㈱ 近藤防災㈱	一般単独事業 国庫補助事業
7－9－1 谷地中	小型動力ポンプ	S62 年 7 月 トーハツ・V38C	B－3 級 33PS	32 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業
7－9－2 荒井原	小型動力ポンプ	H20 年 11 月 シバウラ・SF651Z	B－3 級 34kW	11 年	石川島芝浦機械㈱ 近藤防災㈱	一般単独事業
7－10 小原	小型動力ポンプ付積載車	R2 年 3 月トーハツ R2 年 3 月ダイハツ	B－3 級 37PS	0 年 0 年	トーハツ㈱ 日本防災工業㈱山形営業所	一般単独事業 一般単独事業
7－11 道満	小型動力ポンプ付積載車	H21 年 10 月ﾗﾋﾞｯﾄ P456 H23 年 12 月スバル軽	B－3 級 38kW	9 年 7 年	㈱マキタ沼津 日本防災工業㈱山形営業所	地域活性化事業 地域活性化事業
合　計	消防ポンプ自動車　2 台		小型動力ポンプ付積載車　5 台		小型動力ポンプ　4 台	

第８分団（高揃地区）

区分／所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
8－1－1 西楯	小型動力 ポンプ	S60 年９月 トーハツ・V38B	B－3 級 33PS	34 年	トーハツ㈱ ㈱一辰商会	国庫補助事業
8－1－2 高揃	小型動力ポンプ付積載車	H30 年２月トヨタ H30 年２月 VF63AS-R	B-2 級 22kW	３年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
8－2－1 堀端	消防ポンプ 自動車	H7 年 11 月 三菱キャンター	CD-Ⅰ型 A－2 級	24 年	今川ポンプ㈱	一般単独事業
8－2－2 金谷	小型動力 ポンプ	S61 年 10 月 ラビット・P407R	B－3 級 34PS	33 年	富士ロビン㈱ 今川ポンプ㈱	防災まちづくり事業
8－3－1 清池	小型動力 ポンプ	S62 年７月 トーハツ・V38C	B－3 級 33PS	32 年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業
8－3－2 長岡	消防ポンプ 自動車	H14 年３月 いすゞエルフ	CD-Ⅰ型 A－2 級	18 年	日本機械工業㈱ 今川ポンプ㈱	一般単独事業
8－3－3 芳賀	小型動力ポンプ付積載車	S60 年３月ﾄｰﾊﾂ・V38B H22 年 10 月ﾀﾞｲﾊﾂ軽	B－3 級 33PS	35 年 ９年	トーハツ㈱ ㈱一辰商会	大震火災補助事業 道路局所管補助事業
合 計	消防ポンプ自動車 ２台		小型動力ポンプ付積載車 ２台		小型動力ポンプ ３台	

第９分団（千布地区）

区分／所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
9－1 奈良沢	消防ポンプ 自動車	H30 年２月 いすゞ	CD-Ⅰ型 A－2 級	３年	㈱モリタ ㈱長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
9－2 原町	小型動力ポンプ付積載車	H12 年３月ﾗﾋﾞｯﾄ P455 H13 年 12 月日産ｱﾄﾗｽ	B－3 級 33kW	20 年 18 年	今川ポンプ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
9－3 上荻野戸	小型動力ポンプ付積載車	H23 年 12 月ﾄｰﾊﾂ・VC62AS-R H23 年 12 月トヨタダイナ	B－3 級 43kw	８年 ８年	トーハツ㈱ ㈱一辰商会	一般単独事業
9－4 石倉	小型動力ポンプ付積載車	H1 年３月ﾗﾋﾞｯﾄ P405R H24 年 11 月ﾀﾞｲﾊﾂ軽	B－3 級 34PS	31 年 ７年	今川ポンプ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業 一般単独事業
9－5 出田原	小型動力 ポンプ	H21 年 10 月 ラビット・P456	B－3 級 38kW	10 年	㈱マキタ沼津 日本防災工業㈱山形営業所	地域活性化事業
9－6 片羽	小型動力ポンプ付積載車	H1 年３月ﾗﾋﾞｯﾄ・P407R H19 年 11 月ﾀﾞｲﾊﾂ軽	B－3 級 34PS	31 年 12 年	今川ポンプ㈱ ㈱一辰商会	防災まちづくり事業 一般単独事業
合 計	消防ポンプ自動車 １台		小型動力ポンプ付積載車 ４台		小型動力ポンプ １台	

第 10 分団（荒谷地区）

区分／所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
10－1 荒谷	消防ポンプ 自動車	H6 年３月 三菱ふそう	CD-Ⅱ型 A－2 級	26 年	太平興業㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
10－2 上荒谷	消防ポンプ 自動車	H9 年 11 月 三菱ふそう	CD-Ⅰ型 A－2 級	22 年	太平興業㈱ 今川ポンプ㈱	一般単独事業
10－3 荒谷原	小型動力ポンプ付積載車	S63 年９月シバウラ S63 年９月トヨタ	B－2 級 43PS	31 年 31 年	シバウラポンプ トヨタ	(寄)日本消防協会
合 計	消防ポンプ自動車 ２台		小型動力ポンプ付積載車 １台		小型動力ポンプ ０台	

第11分団（長岡地区）

区分／所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経過年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備　　考
11－1 中里	消防ポンプ 自動車	H30年11月 いすゞ	CD－Ⅰ型 A-2型	2年	㈱モリタ ㈱長谷川ポンプ	国庫補助事業
11－2 東芳賀	小型動力ポンプ付積載車	H15年2月ﾄｰﾊﾂ・VC52A H17年12月三菱軽	B－3級 34kW	17年 14年	トーハツ㈱ 今川ポンプ㈱	一般単独事業
合　計	消防ポンプ自動車　1台		小型動力ポンプ付積載車　1台		小型動力ポンプ　0台	

第12分団（天童南部地区）

区分／所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経過年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備　　考
12－1－1 五日町	消防ポンプ 自動車	H19年11月 トヨタダイナ	CD-Ⅰ型 A－2級	12年	日本機械工業㈱ 今川ポンプ㈱	一般単独事業
12－1－2 三日町	小型動力 ポンプ	H6年8月 トーハツ・V38C (S)	B－3級 33PS	25年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
12－2 一日町	小型動力ポンプ付積載車	H1年3月ラビット H17年12月三菱軽	B－3級 34PS	31年 14年	富士ロビン㈱ 今川ポンプ㈱	一般単独事業
12－3 北目	小型動力ポンプ付積載車	H25年11月ラビット H20年10月ダイハツ軽	B－3級 32kW	6年 10年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
12－4 田鶴町	小型動力 ポンプ	H1年3月 ラビット・P407R	B－3級 34PS	31年	富士ロビン㈱ 今川ポンプ㈱	一般単独事業
合　計	消防ポンプ自動車　1台		小型動力ポンプ付積載車　2台		小型動力ポンプ　2台	

第13分団（天童北部地区）

区分／所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経過年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備　　考
13－1 乱川	小型動力ポンプ付積載車	H7年12月ﾗﾋﾞｯﾄP450 H9年12月日産	B－3級 36PS	24年 22年	今川ポンプ㈱ 小林産業	県費補助事業 一般単独事業
13－2－1 北久野本	小型動力 ポンプ	S62年7月 トーハツ・V38C	B－3級 27PS	32年	トーハツ㈱ ㈱長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業
13－2－2 天童原	小型動力 ポンプ	S59年3月 ラビット・P407A	B－3級 34PS	36年	富士ロビン㈱ 今川ポンプ㈱	大震火災補助事業
合　計	消防ポンプ自動車　0台		小型動力ポンプ付積載車　1台		小型動力ポンプ　2台	